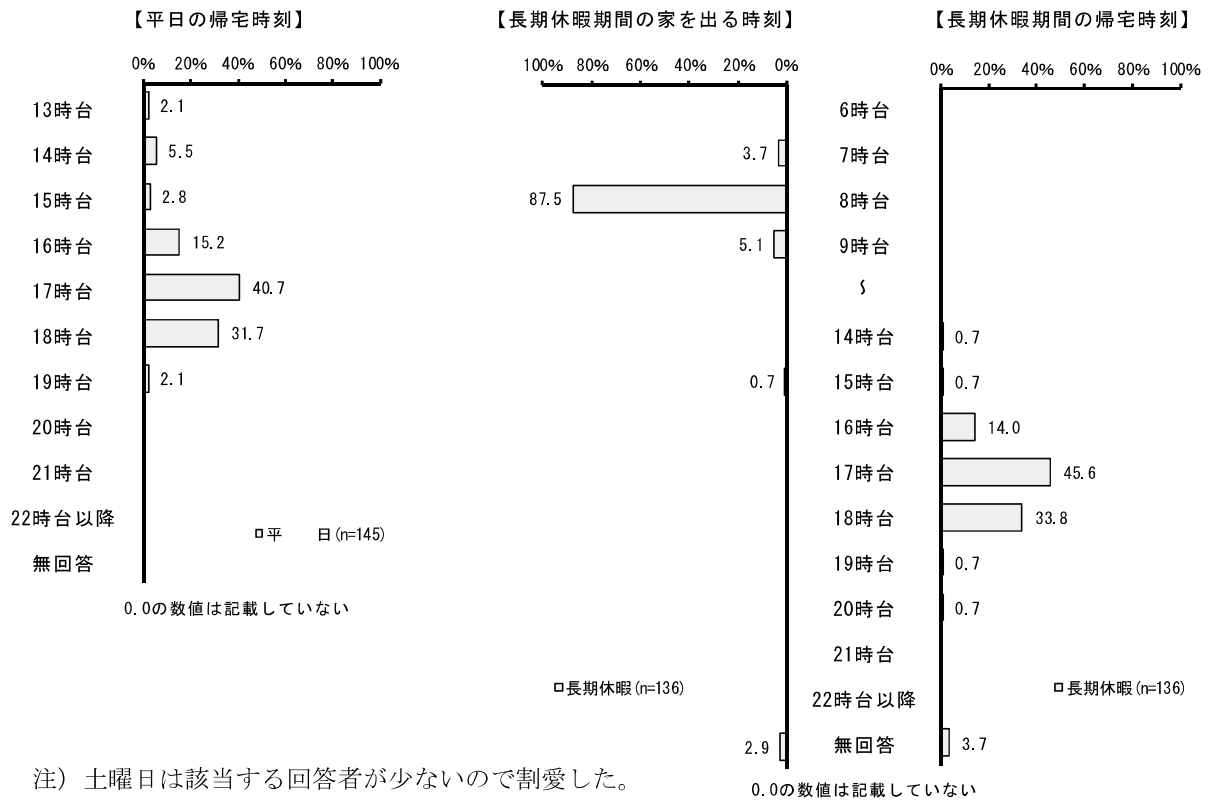


- 放課後児童会利用者の平日の帰宅時刻は「17 時台」が 40.7%と最も多い。前後 1 時間の「16 時台」（15.2%）から「18 時台」（31.7%）までの 3 時間を合わせると 87.6%になり、「19 時台」（2.1%）を過ぎると児童は居なくなっている。
- 長期休暇期間中の家を出る時刻は「8 時台」が 87.5%と最も多い。帰宅時刻は「17 時台」が 45.6%と最も多い。前後 1 時間の「16 時台」（14.0%）から「18 時台」（33.8%）までの 3 時間を合わせると 93.4%になっている。

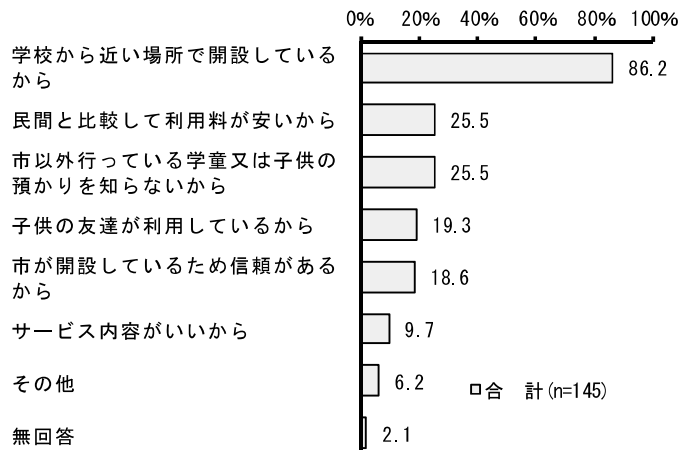
【放課後児童会利用者の利用時間】



問 13 で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。
 問 14-1 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は何ですか。
 (○はいくつでも)

- 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は「学校から近い場所で開設しているから」が 86.2%と最も多い。以下、「民間と比較して利用料が安いから」（25.5%）と「市以外行っている学童又は子供の預かりを知らないから」（25.5%）、「子供の友達が利用しているから」（19.3%）「市が開設しているため信頼があるから」（18.6%）、などの順となっており、利便性を優先している結果となっている。

【市の放課後児童会を利用する理由】



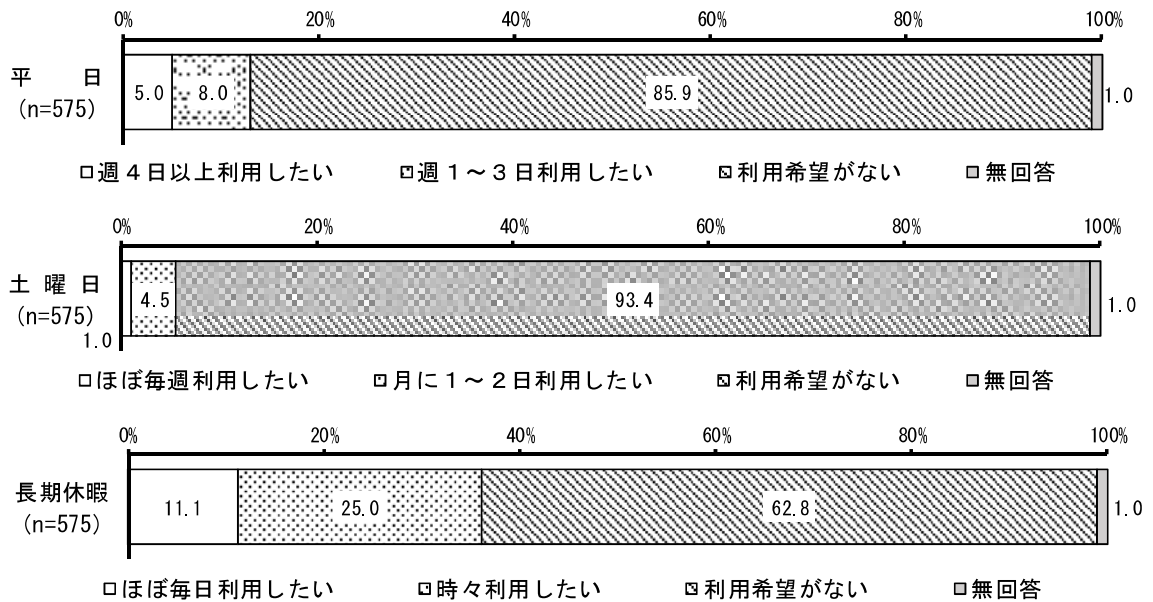
③放課後児童会非利用者の利用意向

問13で「5. 放課後児童会」に○をつけなかった方にうかがいます。

問15 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会の利用希望はありますか。(曜日別にそれぞれ○は1つ)

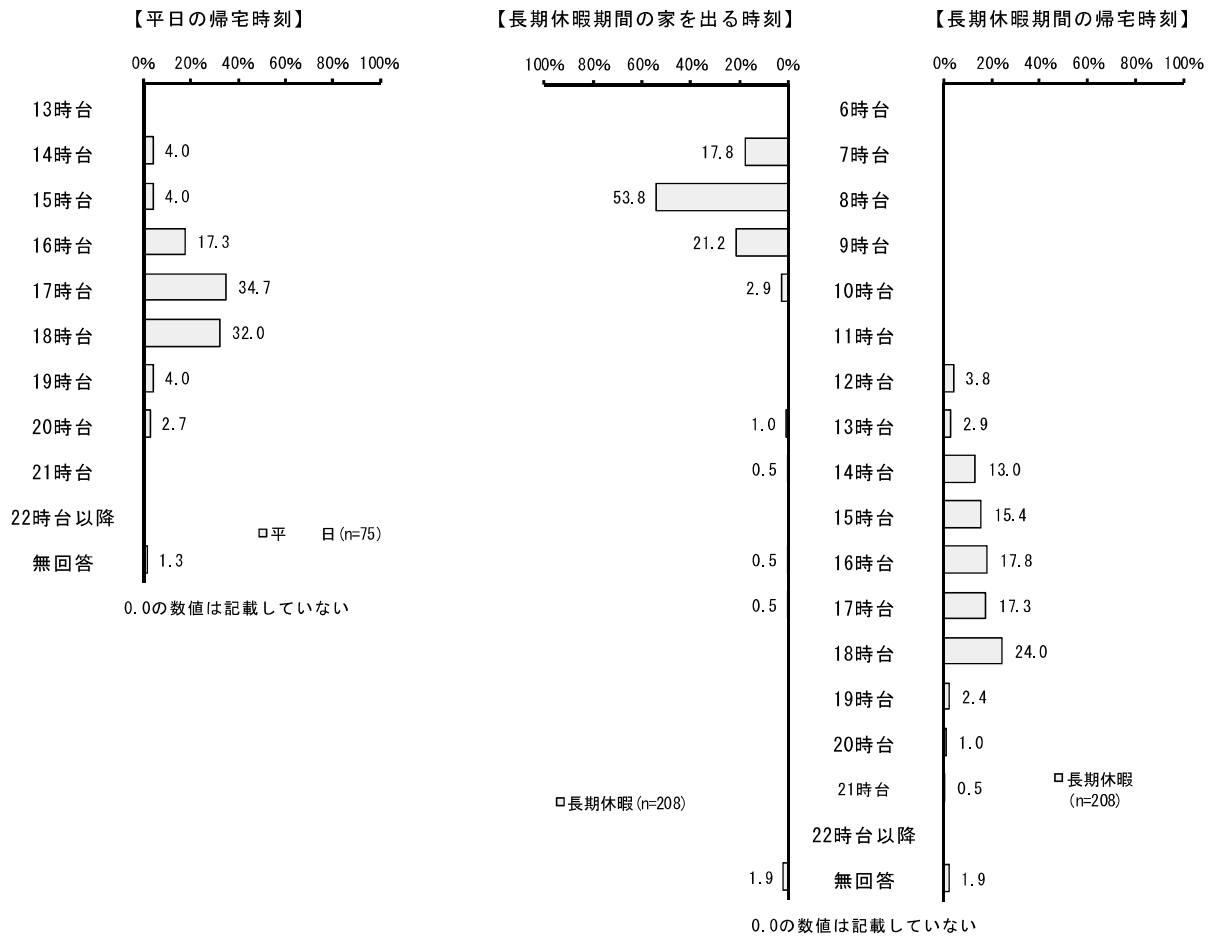
- 市の開設している放課後児童会非利用者の曜日別利用意向の割合は、平日の利用意向は「週4日以上利用したい」が5.0%で「週1～3日利用したい」の8.0%を合わせた利用意向のある人の割合は13.0%である。
- 土曜日は「ほぼ毎週利用したい」が1.0%で「月に1～2日利用したい」の4.5%を合わせた5.5%が利用意向のある人の割合である。
- 夏休みや冬休みなどの長期休暇期間の利用意向は「ほぼ毎日利用したい」が11.1%で「時々利用したい」の25.0%を合わせた36.1%が利用意向のある人の割合である。

【市の開設している放課後児童会非利用者の曜日別利用意向】



- 放課後児童会非利用者の平日の帰宅希望時刻は「17時台」の希望が34.7%と最も多い。前後1時間の「16時台」(17.3%)から「18時台」(32.0%)までの3時間を合わせると84.0%となっている。
- 長期休暇期間の家を出る希望時刻は「8時台」が53.8%が最も多い。前後1時間の「7時台」(17.8%)から「9時台」(21.2%)までの3時間を合わせると92.8%となっている。帰宅希望時刻は「18時台」が24.0%と最も多い。「14時台」(13.0%)から「17時台」(17.3%)までの帰宅希望時刻は10%台で推移し、「18時台」で24.0%とピークになり「19時台」(2.4%)以降は極端に少なくなっている。

【放課後児童会非利用者の利用希望時間】



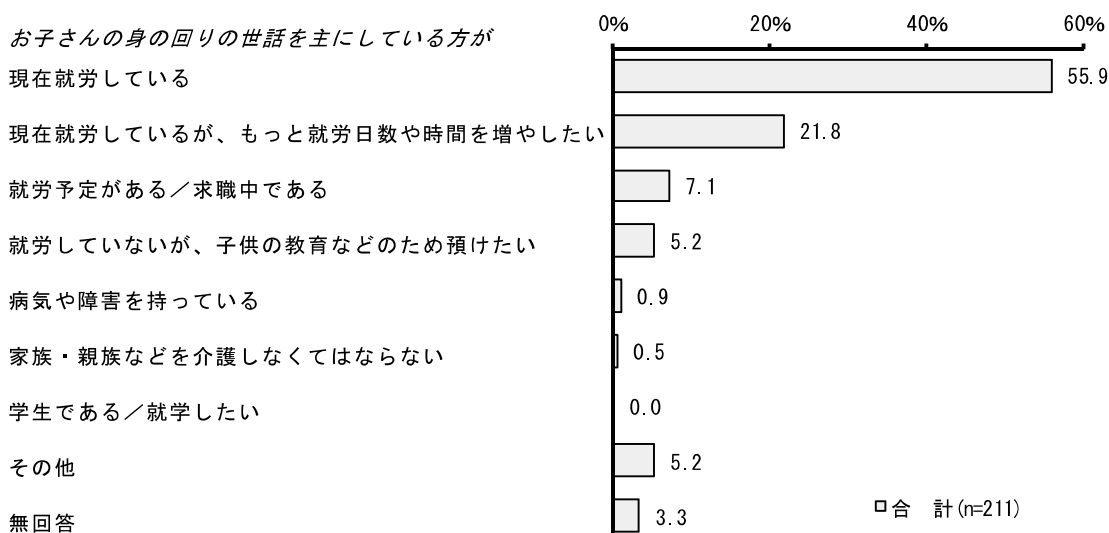
注) 土曜日は該当する回答者が少ないので割愛した。

問 15 で「放課後児童会」を利用したいと回答した方にうかがいます。

問 15-1 サービスを利用したい主な理由は何ですか。(○は1つ)

- 放課後児童会利用していない人が放課後児童会を希望する理由は「現在就労している」が 55.9%と最も多い。以下、「現在就労しているが、もっと就労日数や時間を増やしたい」(21.8%)、「就労予定がある／求職中である」(7.1%) などとなっている。

【放課後児童会非利用者が放課後児童会を利用希望する理由】

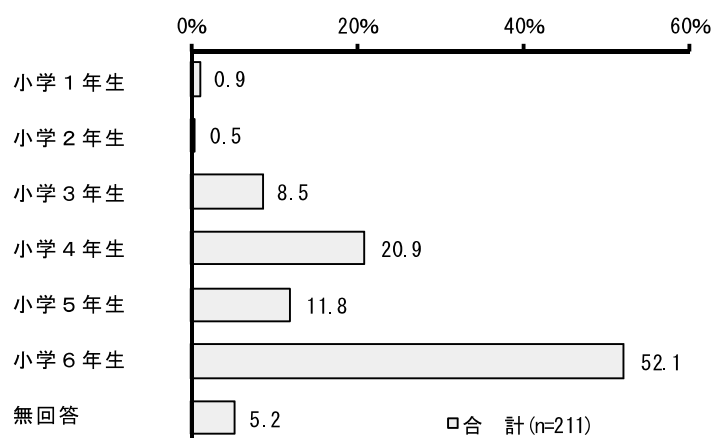


問 15 で「放課後児童会」を利用したいと回答した方にうかがいます。

問 15-2 放課後児童会について、何年生まで利用したいですか。

- 市の放課後児童会に預けたい子供の年齢は「小学6年生」までが 52.1%と最も多い。次いで「小学4年生」(20.9%)、「小学5年生」(11.8%) などとなっている。

【放課後児童会に預ける子供の学年】



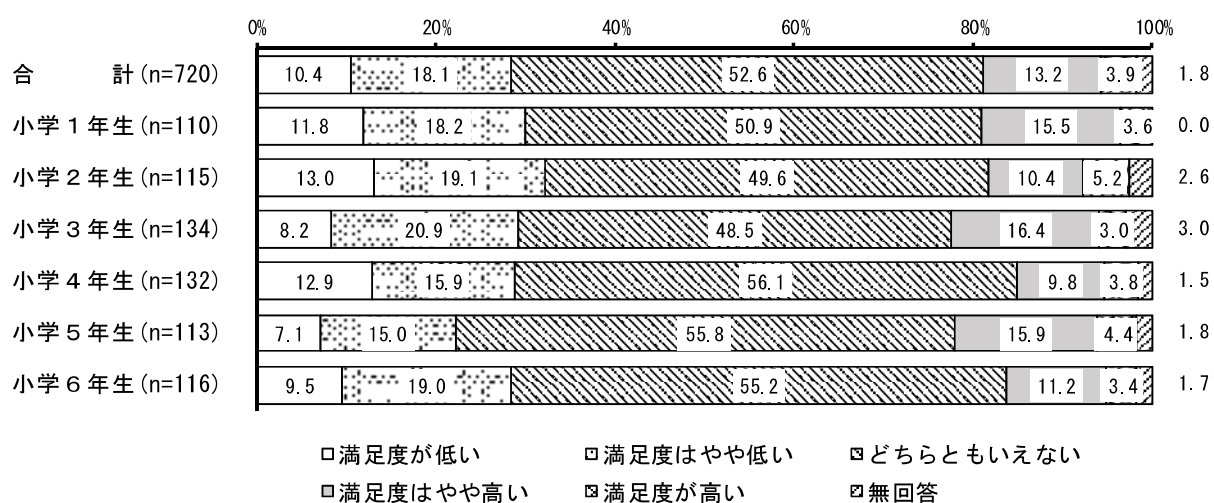
5. 地域の子育て環境や支援の満足度

①地域の子育て環境や支援の満足度

問 16 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 地域の子育て環境や支援の評価は「満足度が高い」(3.9%)と「満足度はやや高い」(13.2%)を合わせた割合17.1%が満足度合いが高い人で、「満足度が低い」(10.4%)と「満足度はやや低い」(18.1%)を合わせた割合28.5%が満足度合いが低い人で、満足度合いが低い人が11.4ポイント多くなっている。なお、「どちらともいえない」とした人は52.6%と最も多くなっている。

【地域の子育て環境や支援の満足度 学年別】



②子育ての環境や支援に関してのご意見

問 17 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見

①地域における子育て支援について 172 件

- 放課後児童会は家で過ごしているような家庭的な環境で不満はなかったが、楽しく過ごせるよう制作活動、イベントや講座などもあったらより魅力的だったと思う。
- 放課後児童会が定員の関係で3年生までしか入れず、1人で留守番することになってしまっていたので、受け入れの拡充をしてほしかった。
- 民間の放課後児童会の費用が高すぎる。放課後児童会を辞めて家で留守番させてもいいが、夏休みなどはそういう訳にもいかないなので、夏休みなどだけの放課後児童会があってほしい。
- 放課後児童会も希望者が多いようで、入りにくい。就労の有無に関わらず利用できるようなになればよい。

②親子の健康について 40 件

- 子供の医療費が無料になるとよい。

③教育・保育環境の整備について 71 件

- 学校での先生方の様子を見てみると、とにかく忙しそう。ゆとりをもって子供たちと向き合うことができなくなっているのではないかと感じる。非常勤等で補うのではなく、正規の職員の雇用を増やし、もう少し1人当たりの仕事を減らすことで、子供たちと向き合える時間を確保してもらいたい。
- 高校無償化等の金銭的な支援が必要である。金銭的な余裕があれば、親の働き方も子供の教育環境も選択肢が増えると思う。

④職業生活と家庭生活の両立の推進について 13 件

- 職場における子育て世代への理解が深まり、気兼ねなく、学童に迎えにいける環境になるとよいと思う。

⑤子育てを支援する生活環境の整備について 39 件

- 小学生が放課後に友だちと室内で遊べる場所があるとよいと思う。例えば協働センターの一部を使うとか。外で遊ぶ時は公園や学校などあるが、子供だけで気軽に利用出来る室内の遊び場を検討してほしい。
- 駐車場の整っている広い公園が少ない。駐車場の整っている公園が遠く、数が少ないと思う。こども館は充実しているが、そこだけという感じになっていると思う。

⑥子供の安全・安心の確保について 14 件

- 小学校への通学路がとても危ない。スクールゾーン周りだけでも広く安全に整備してほしい。
- 登下校中の子供の安全面について、交通量が多い狭い道の通学路には、ガードレールの設置などの子供を守る対策を進めていただきたい。

⑦支援が必要な家庭、子供への対応について 18件

- 子供に障害があるので放課後デイサービスを利用している。大変良くしてもらっているが、事業所によってサービスの良し悪しにバラツキがある。
- 放課後デイサービスを増やしてほしい。満員で登録待ちの状態が続いている。
- 発達障害をもった子が通いやすい学校にしてほしい。

6. 子供から浜松市への意見

(※ 子ども・子育てに関するニーズ調査とは別に子供から浜松市への意見を聴取した。)

問 18 最後に、お子さんから浜松市への意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
「うれしいこと」「困っていること」「もっとこうなるといいなあ」と思うことを記入してください。

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

No.	項目	件数（件）
1	遊び場や居場所に関すること	68
2	学校生活に関すること	41
3	学校施設に関すること	18
4	通学や通学路に関すること	18
5	放課後児童会に関すること	14
6	学校給食に関すること	11
7	部活に関すること	8
8	その他	32
	合計	210

●最も多かったのは「遊び場や居場所に関すること」で68件だった。

No.2 からNo.4 まで、No.6、No.7 は、学校に関する事で合計96件であった。

子供の意見については、本市の子供に関する施策の参考とする。

子ども・子育てに関するニーズ調査

～ 調査の趣旨とご協力のお願い ～

あなたの意見が計画に反映されます

皆さまには、目ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

各自治体は「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実に図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。

浜松市では、子供が生き生きと輝き、子育てが楽しいと感じられる社会の実現のため、令和2年度から平成6年度までの5年間を計画期間とする、「浜松市子ども・若者支援プラン」を作成し、すべての子供の健やかな成長と子育て家庭を社会全体で支える施策を展開してまいりました。

現計画が令和6年度をもって終了するにあたり、引き続き計画的に給付や事業を実施すべく、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする、次期計画を作成するため、ニーズ調査を行うこととなりました。

このニーズ調査は、計画期間中に確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、あなたやあなたのお子さんの教育・保育・子育て支援サービスに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に行うものです。

あなたの回答や意見の一つひとつが、よりよい計画作りに結びつきますので是非ご記入くださいようお願いいたします。

この調査は市内にお住まいの就学前のお子様がいいらっしゃるご家庭の中から3,000人を無作為に抽出し調査の対象とさせていただきます。

調査票につきましては浜松市が委託した事業者が配付し、WEB回答又は紙調査票の返信により、回収・集計・分析作業を行います。お答えはすべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはございません。すべての質問にありのままにお答えください。ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和6年1月

浜松市長 中野 祐介

ご回答はWEBフォームからも回答できます。右のQRコード又はアドレスURLからWEBフォームに進んでください。便利で簡単なWEBフォームをご活用ください。
(WEBフォームで回答した方は紙の調査票を返送しないでください。)



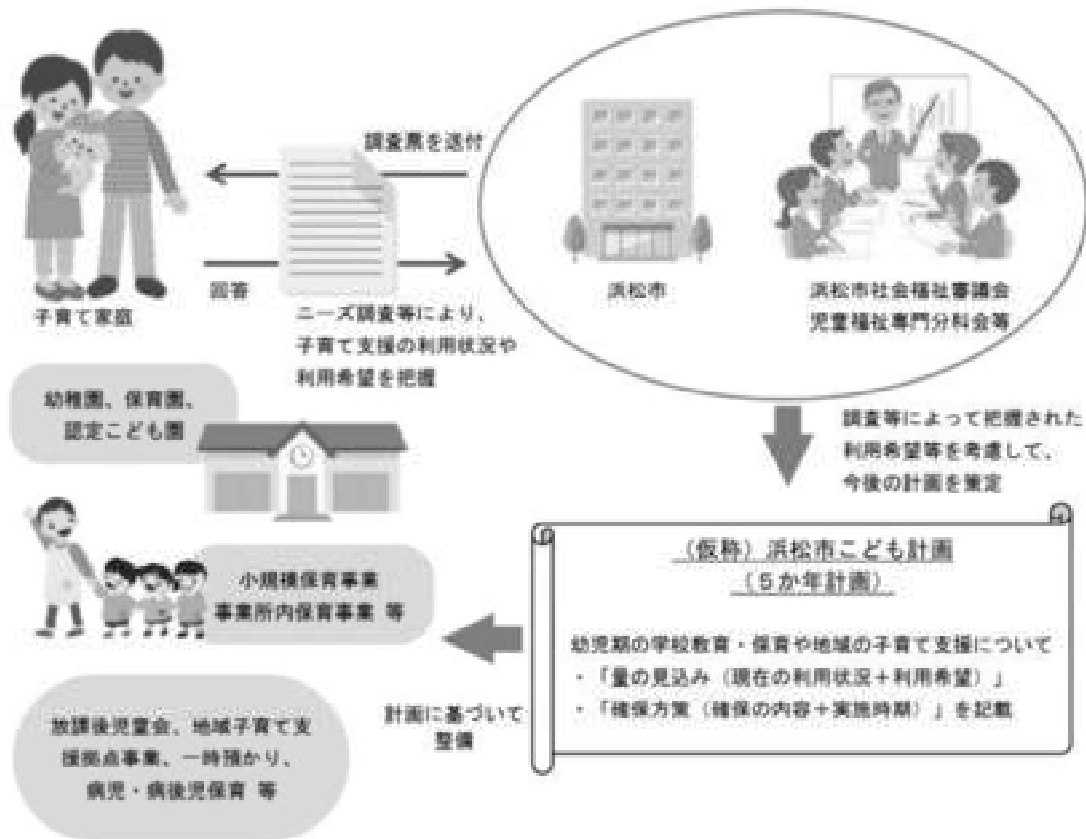
アドレスURL：<https://logoform.jp/f/tVfG8>

- ・ご回答は、ご家族や一緒にお住まいの方にもご協力いただけますようお願いいたします。
- ・調査票のページが多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最後までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、選択してください。
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ご返送締め切り日 令和6年2月13日（火）

【お問い合わせ先】 浜松市役所 こども家庭部 次世代育成課
電話：053-457-2795 F A X：053-457-2039
メール：katei@city.hamamatsu-shizuoka.jp

子ども・子育て支援の制度の目的



用語の定義

- ・幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・保 育 園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・認 定 こ ど も 園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設 (就学的小児に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・小規模保育事業：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業
(児童福祉法第6条の3第10項)
- ・事業所内保育事業：児童福祉法に定める、従業員の子供と保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業
(児童福祉法第6条の3第12項)
- ・子 育 て 支 援：教育・保育その他の子供の健やかな成長のために行われる支援

●お住まいの地域について

問1 お住まいの区を教えてください。(○は1つ)

1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

1. 平成 2. 令和 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

- きょうだい数 □ 人 末子の生年月 1. 平成 2. 令和 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方を宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。(○は1つ)

※宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 配偶者はいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親
3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

●子供の育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

(○はいくつでも) ※宛名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 家庭 2. 幼稚園
3. 保育園 4. 認定こども園
5. 小規模保育事業 6. 事業所内保育事業
7. 認可外保育施設 8. 児童発達支援事業所
9. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 家庭 2. 地域
3. 幼稚園 4. 保育園
5. 認定こども園 6. 小規模保育事業
7. 事業所内保育事業 8. 認可外保育施設
9. 児童発達支援事業所 10. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子供をみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9で「3.」または「4.」に〇をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

1. いる/ある
2. いない/ない

問10で「1.いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族(配偶者を除く) |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援施設(子育て支援ひろば、親子ひろば、児童館等)・NPO | 6. 保健所・保健センター(区役所健康づくり課) |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. その他 () |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者（専従者）含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

【(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

- (1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で右詰)

1週あたり □日 1日当たり □□時間□□分

- (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で右詰)

家を出る時刻 □□時□□分 帰宅時刻 □□時□□分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

【(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

- (2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で右詰)

1週あたり □日 1日当たり □□時間□□分

- (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で右詰)。

家を出る時刻 □□時□□分 帰宅時刻 □□時□□分

問12の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
 にかがいます。
 該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
 実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
 実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これ
 まで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。
 該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

(1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

(2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり 日 1日当たり 時間

●宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的」にご利用している事業をお答えください。（○はいくつでも）

1. 幼稚園又は認定こども園（幼稚園機能）
2. 幼稚園等の預かり保育を定期的にご利用
3. 保育園（4の認定こども園を除く）
4. 認定こども園（保育園機能）
5. 小規模保育施設
6. 事業所内保育事業
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可外の保育施設のうち、浜松市が認証した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 保育ママ（天竜区で行っている事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子供を預かる事業）
12. 児童発達支援事業所
13. その他（ ）

→問15-2 平日定期的にご利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一律に一字で右詰）

時間は、（例）「9時」や「18時」のように、24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	----------------------------------------------	---	----------------------------------------------	----------------------------------------------

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	----------------------------------------------	---	----------------------------------------------	----------------------------------------------

→問15-3 現在、ご利用している教育・保育事業の所在地はどこですか。（○は1つ）

1. 居住している区	2. 他区	3. 市外
------------	-------	-------

→問15-4 平日に定期的にご利用されている理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 子供の教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

利用していない

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-5 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. (子供の教育や発達のため、子供の母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子供の祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子供がまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

すべての方にうかがいます。

問15-6 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を行う施設を選ぶ際に、重視することは何ですか。(○はいくつでも)

1. 受入れ可能な年齢 利用を開始したい年齢に○をつけてください。
⇒ 0歳() 1歳() 2歳() 3歳() 4歳() 5歳()
2. 場所的な通いやすさ
3. 安全や衛生面が優れていること
4. 保育者等の人員体制や専門性・人柄
5. 教育・保育の方針や内容
6. 園舎・園庭などの施設や設備
7. 保育料などの費用負担額
8. 給食(昼食・おやつなど)があること
9. きょうだいや友人が通っていること
10. 通園バスなどによる送迎があること
11. 利用できる曜日や時間
12. その他()

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園又は認定こども園(幼稚園機能)
2. 幼稚園等の預かり保育を定期的にご利用
3. 保育園(4の認定こども園を除く)
4. 認定こども園(保育園機能)
5. 小規模保育施設
6. 事業所内保育事業
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認証保育所(認可外の保育施設のうち、浜松市が認証した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 保育ママ(天竜区で行っている事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子供を預かる事業)
12. 児童発達支援事業所
13. その他()
14. 利用希望はない

問16で「1. ～13.」(利用希望がある)に○をつけた方にうかがいます。

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

1. 居住している区
2. 他の区
3. 市外

問16で「1.」または「2.」に○をつけ、かつ「3.～12.」のいずれかにも○をつけた方がうかがえます。

問16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

●宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

すべての方にうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援ひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。（○はいくつでも）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字で右詰め）

※「1. 子育て支援ひろば」についてはP19の別表①を、「3. 親子ひろば」についてはP19の別表②を参照してください。

1. 子育て支援ひろば

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

2. こども館

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

3. 親子ひろば

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

4. 幼稚園の子育て支援事業

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度 1回当たり □時間程度

5. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

（数字は一律に一字で右詰め）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □□回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □□回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用したことがあるもの（B）、今後、利用したいと思うもの（C）をお答えください。（○は、①～⑬の事業ごとにそれぞれ○は1つ）
※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①はじめてのパパママレッスン ※初めての出産を迎える妊娠5週までの妊婦さんとその 夫を対象とした、親になることを学ぶ講座	1	2	1	2	1	2
②妊婦健康診査事業 ※妊娠中の健康管理のため、産婦人科や助産所で定期的 に受診する検診	1	2	1	2	1	2
③産後ケア事業 ※産後の支援が必要な母子に対し、心身のケアや育児の サポート等を実施する事業	1	2	1	2	1	2
④乳児家庭全戸訪問事業 ※生後4か月までのお子さんのいる家庭に助産師や保育 士が訪問し、育児交流の相談等を行う事業	1	2	1	2	1	2
⑤親子すこやか相談などの相談事業 ※保健センター等で実施している、乳幼児の身体検査や 発育発達・食事・歯の相談・育児相談	1	2	1	2	1	2
⑥家庭教育に関する学級・講座 ※子供の健全な成長を促すため保護者を対象として行う 家庭教育に関する講座など	1	2	1	2	1	2
⑦教育総合支援センター ※中学生までの教育相談窓口、発達支援学級に関する こと、外国語の就学支援	1	2	1	2	1	2
⑧親子ひろば ※保育園などの施設、保育園の開放や行事の開催	1	2	1	2	1	2
⑨家庭児童相談室（各社会福祉課） ※家庭における子供の養育などの相談及び支援を行って いるところ	1	2	1	2	1	2
⑩はますくヘルパー利用事業 ※支援を必要とする親に対してヘルパーを派遣し、育児 支援を実施する事業	1	2	1	2	1	2
⑪はままつ子育てガイド ※浜松市で発行している子育て支援に関する施策や制度 を紹介した情報誌	1	2	1	2	1	2
⑫浜松市子育て情報サイト びっぴ ※子育て支援に関する施策や制度を発信しているサイト	1	2	1	2	1	2
⑬はますくノート ※保護者が子供の成長を記録し、関係機関と情報共有 する記録媒体	1	2	1	2	1	2
⑭子育て世代包括支援センター ※妊娠・出産・子育てについての総合相談窓口	1	2	1	2	1	2
⑮病児保育事業 ※病気のお子さんを一時的に預かり、保護者の保育を 支援する事業	1	2	1	2	1	2

問19で「B：これまでに利用したことがある」の「はい」を選んだ事業についてうかがいます。

問19-1 利用して良かった点や工夫してほしい点があれば記入してください。

●宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日又は夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○はそれぞれ1つ）

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)「9時」～「18時」のように24時間制でご記入ください。（□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字で右詰）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園や保育園などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
3. 月に1～2回は利用したい	

(3) 夜間（20時以降）

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週数日利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
3. 月に1～2回は利用したい	

問20の(1)から(3)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため（育児負担の軽減のため）
5. その他（)

「幼稚園」（認定こども園を除く）を利用されている方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)「9時」や「18時」のように、24時間制でご記入ください。（□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字右詰）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため（育児負担の軽減のため）
5. その他（)

●宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）に
うかがいます。利用していらっしゃる方は、問23にお読みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはあります
か。（○は1つ）

1. あった 2. なかった

問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 その際、この1年間に行った対処方法を教えてください。（○はいくつでも）

○をつけたものそれぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字で右詰）

1. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3. （同居者を含む）親族・知人に子供を見てもらった	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子供を見た	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児保育を利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子供だけで留守番をさせた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
9. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

※「7.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思いましたか。

（○は1つ）日数についても□内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字で右詰）

※なお、病児・病後児保育等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医
の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育等を利用したい ⇒ □ □ 日

2. 利用したいとは思わない

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-3 その際、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 認定こども園・保育園に併設した施設で子供を保育する事業

2. 診療所に併設した施設で子供を保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）

4. その他（）

問22-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。

問22-4 そう思われる理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安

2. 地域の事業の質に不安がある

3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

4. 利用料がかかる

5. 親が仕事を休んで対応する

6. 利用に係る手続きが煩雑である。

7. その他（）

問22-1で「3.～9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(○は1つ)
 「3.～9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。
 (数字は一枠に一字右詰)

1. できれば仕事を休んで看たいと思う → 日
 2. 休んで看ることは非常に難しいと思う

問22-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-6 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 子供の看護を理由に休みがとれない
 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないので休めない
 4. その他 ()

●宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも)

また、それぞれの1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。
 (数字は一枠に一字で右詰)

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり(一時保育) (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子供を保育する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園等の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子供を預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. その他 ()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. 利用していない	

問23で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない
 2. 利用したい事業が地域にない
 3. 地域の事業の質に不安がある
 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
 5. 利用料がかかる
 6. 自分が事業の対象者になるのかわからない
 7. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
 8. その他 ()

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。○は1つ) 利用する必要があると思う場合は、1年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。(数字は一桁に一字右詰)

1. 利用したいと思う → 日
 2. 利用する必要はないと思う

問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 目的ごとに、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数をご記入ください。(数字は一桁に一字で右詰)
 ※なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 私用(買物、子供(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子供(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3. 不定期の就労	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4. その他()	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

問24-2 問24-1の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

1. 幼稚園・保育園などで子供を保育する事業
 2. 子育て支援ひろばのような地域子育て支援拠点等で子供を保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
 (例：ファミリー・サポート・センター等)
 4. その他()

問25 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹を含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか(○は1つ)

1. ある(利用したい)
 2. ない(利用する必要はない)

問25で「1. ある(利用したい)」と答えた方にうかがいます。

問25-1 短期入所生活援助(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、目的ごとに1年間で何日くらい事業を利用したいと思いますか。当てはまる全てに○を付け、必要な泊数を記入してください。(数字は一桁に一字で右詰)
 ※なお、事業の利用にあたっては、一定の料金がかかります。

1. 冠婚葬祭	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
2. 保護者の家族の育児疲れ・不安	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
3. 保護者や家族の病気	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
4. その他()	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊

●宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）

それぞれの希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童会」「民間の学童保育・子供の預かり」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は（例）「18時30分」や「19時00分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童会 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
	一下校時から	<input type="text"/>	時 <input type="text"/>
		<input type="text"/>	分まで
6. 放課後子供教室 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
7. 民間の学童保育・子供の預かり	週	<input type="text"/>	日くらい
	一下校時から	<input type="text"/>	時 <input type="text"/>
		<input type="text"/>	分まで
8. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
9. 放課後等デイサービス	週	<input type="text"/>	日くらい
10. その他（公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 放課後児童会…浜松市の補助や委託を受けて運営されており、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子供の生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子供教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校やその他の施設で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）

それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童会」「民間の学童保育・子供の預かり」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は（例）「18時30分」や「19時00分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※だいたひ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後児童会 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
	一下校時から	<input type="text"/>	時 <input type="text"/>
		<input type="text"/>	分まで
6. 放課後子供教室 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
7. 民間の学童保育・子供の預かり	週	<input type="text"/>	日くらい
	一下校時から	<input type="text"/>	時 <input type="text"/>
		<input type="text"/>	分まで
8. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
9. 放課後等デイサービス	週	<input type="text"/>	日くらい
10. その他（公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問26または問27で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、土曜日に、放課後児童会の利用希望はありますか。また、利用した時間帯を教えてください。（例）「8時30分～18時30分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一律に一字で右詰）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで	
3. 利用する必要はない				

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童会の利用希望はありますか。（○は1つ）

また、利用したい時間帯を教えてください。（例）「8時30分～18時30分」のように24時間制の30分単位でご記入ください。（数字は一律に一字で右詰）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→	利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで	
3. 利用する必要はない				

●すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親・父親それぞれについて教えてください。また、取得していない方はその理由を教えてください。

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
1. 備いていなかった 2. 取得した (取得中である) →取得期間 □□年□□ヶ月 3. 取得していない	1. 備いていなかった 2. 取得した (取得中である) →取得期間 □□年□□ヶ月 3. 取得していない
↓ 取得していない理由	
①母親 (○はいくつでも)	②父親 (○はいくつでも)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()

問30で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園などの入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。
 ※年度初めで保育園などの入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。
 ※また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園などに入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親（数字は一种に一字）	②父親（数字は一种に一字）
希望 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問30-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育園などに入るため	1. 希望する保育園などに入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ <input type="text"/> ）	5. その他（ <input type="text"/> ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育園などに入らなかったため	1. 希望する保育園などに入らなかったため
2. 自分や子供などの体調が悪くなったため	2. 自分や子供などの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子供をみてくれる人がいなかったため	5. 子供をみてくれる人がいなかったため
6. その他（ <input type="text"/> ）	6. その他（ <input type="text"/> ）

問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

また、短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）	1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）
↓利用しなかった（利用できなかった）理由	↓利用しなかった（利用できなかった）理由
①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 6. 子育てや家事に専念するため退職した 7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 9. その他（ ）	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 6. 子育てや家事に専念するため退職した 7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 9. その他（ ）

問30-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか、または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

すべての方にうかがいます。

子供が原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子供が満3歳になるまでの育児休業等（※2）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。

問30-8 そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1 保育園などにおける保育が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月です。

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置のことです。

●その他

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援へ満足度について当てはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

満足度が低い ←					→	満足度が高い
1	2	3	4	5		

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、検閲してください。

別表① 浜松市子育て支援ひろば一覧（令和5年4月現在）

区	会場	通称名	区	会場	通称名
中	ここみ広場	ここみ広場	西	やまぼうしの家	やまぼうしの家
	瑞雲こども園	カンガルーのおうち		ころころルーム	ころころルーム
	花園こども園	Luana(るあな)	南	太陽こども園	サンサンひろば
	和合こども園	わわわひろば		遠州浜子育て支援ひろば	えんしゅうはま すくすくひろば
	広沢子育て支援ひろば	さわさわひろば		ここみのおうち	ここみのおうち
	まんまの家	まんまのつぼみ	北	なごみCIRCUS(サーカス)	なごみCIRCUS(サーカス)
東	小規模保育室いずみっこ	ぞうさん		聖隷こども園わかば	おひさま
	ながかみこども園	きらり		引佐協働センター	引佐子育て支援広場
	児童発達支援事業所ころころ	どんぐりひろば	浜北	子育てセンターしばもと	そよかぜ
	若宮こども園	ぎゅっと		子育てセンターしんばら	ゆりかご
	みどり保育園	グリーンランド	天竜	中瀬南部緑地会館	ここみの森
	和光こども園	マイひろば		子育てセンターやまびこ	やまびこ
西	花園幼稚園(保育園部園舎)	OHANA(おはな)			

別表② 親子ひろば実施施設一覧（令和5年4月現在）

区	施設名	区	施設名	区	施設名
中	南保育園	東	太陽さぎのみやこども園	南	たかつか光こども園
	鴨江保育園		遊歩の丘かみにしこども園		はあもにいこども園
	花川保育園		きなりこどもえん		若林こどもの園
	江西保育園		蒲こども園		遊歩の丘みなみプレスクール
	権現谷保育園		そらいろこども園		エオスプレスクール
	佐鳴台保育園		ありたまこども園		三方原保育園
	寺島保育園		天竜こども園	引佐保育園	
	西保育園		浜松東こども園	三ヶ日保育園	
	ひくまこども園		あそびこども園浜松	都筑保育園	
	なかざわこども園		浜っ子こども園	クリストファーこども園	
	相生こども園		あそび西ヶ崎こども園	聖隷こども園桜ヶ丘	
	なかよし第2こども園		ルミーナプレスクール	みどりのもり都田	
	遊歩の丘にしおかこども園		イーエーエスほんだやま保育園	こども園みらい	
	みそらこども園		西	神田原保育園	北
	聖隷こども園めぐみ	舞阪第1保育園		ひまわり保育園	
	れんげこども園	舞阪第2保育園		細江保育園	
	小豆餅ゆすらめこども園	雄踏保育園		はらっぱ保育園	
	上池さくらこども園	入野こども園		ひまわり第二保育園	
	音の森こども園	さざんかこども園		たんぼほ保育園	
	浜松中央こども園	春日こども園		ひがしみかた保育園	
	たかい丘こども園	瞳ヶ丘こども園		チャイルドスクエア浜松三ヶ日	
	天林寺こども園	順愛こども園		れんりの子	
	まつばこども園	雄踏ちゅうりっぷこども園		はぐみなの風保育園	
	葵ヶ丘こども園	湖東白ゆりこども園		認定こども園さじの里	
	中央ながかみこども園	生命の樹保育園		子育てセンターこまつ	
	こぼと保育園	わかくさ保育園		子育てセンターきぶね	
	天使園こどもの家	館山寺保育園		子育てセンターなかぜ	
	愛恵保育園	大平台わかくさ保育園		遊歩の丘はまなこども園	
	ヘリオスプレスクール	志都呂保育園		子育てセンターかきのみ	
	なのはな保育園	ヒーローズ浜松西保育園	あゆみの森こども園		
チャイルドスクエア浜松花川	マーガレット保育園	子育てセンターみゆうのおか			
まつのき保育園	伊左地保育園	こども園ことり			
みみ・あんふあんしゅしゅ	チャイルドスクエア浜松篠原	ひらくちかえでこども園			
東	中ノ町保育園	ヒーローズさなるこ保育園	森のいえはまきた		
	積志保育園	可美保育園	うちの丘。こども園		
	笠井保育園	ずだじこども園	くすのき保育園		
	聖隷こども園ひかりの子	太陽第二こども園	浜北西保育園		
	いずみこども園	平和こども園	はなのこ保育園		
	市野与進こども園	なかよしこども園	ヒーローズはまきた保育園		
	まるづかこども園	ハローこども園	子育てセンターすぎのこ		
		南		天竜	

子ども・子育てに関するニーズ調査

～ 調査の趣旨とご協力のお願い ～

あなたの意見が計画に反映されます

皆さまには、目ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

各自治体は「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。

浜松市では、子供が生き生きと輝き、子育てが楽しいと感じられる社会の実現のため、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする、「浜松市子ども・若者支援プラン」を作成し、すべての子供の健やかな成長と子育て家庭を社会全体で支える施策を展開してまいりました。

現計画が令和6年度で終了するにあたり、引き続き計画的に給付や事業を実施すべく、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする、次期計画を作成するため、ニーズ調査を行うこととなりました。

このニーズ調査は、主に放課後児童会について現状等を把握し、計画期間中に確保すべき「量の見込み」や「今後の利用希望」を把握することを目的に行うものです。

あなたの回答や意見の一つひとつが、よりよい計画作りに結びつきますので是非ご記入くださいますようお願いいたします。

この調査は市内にお住まいの小学生のお子様がいらっしゃるご家庭の中から2,000人を無作為に抽出し調査の対象とさせていただきます。

調査票につきましては浜松市が委託した事業者が回収し、集計・分析作業を行います。お答えはすべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはございません。すべての質問にありのままにお答えください。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和6年1月

浜松市長 中野 祐介

ご回答はWEBフォームからも回答できます。右のQRコード又はアドレスURLからWEBフォームに進んでください。便利で簡単なWEBフォームをご活用ください。
(WEBフォームで回答した方は紙の調査票を返送しないでください。)

アドレスURL：<https://logofom.jp/f/Q98Bq>

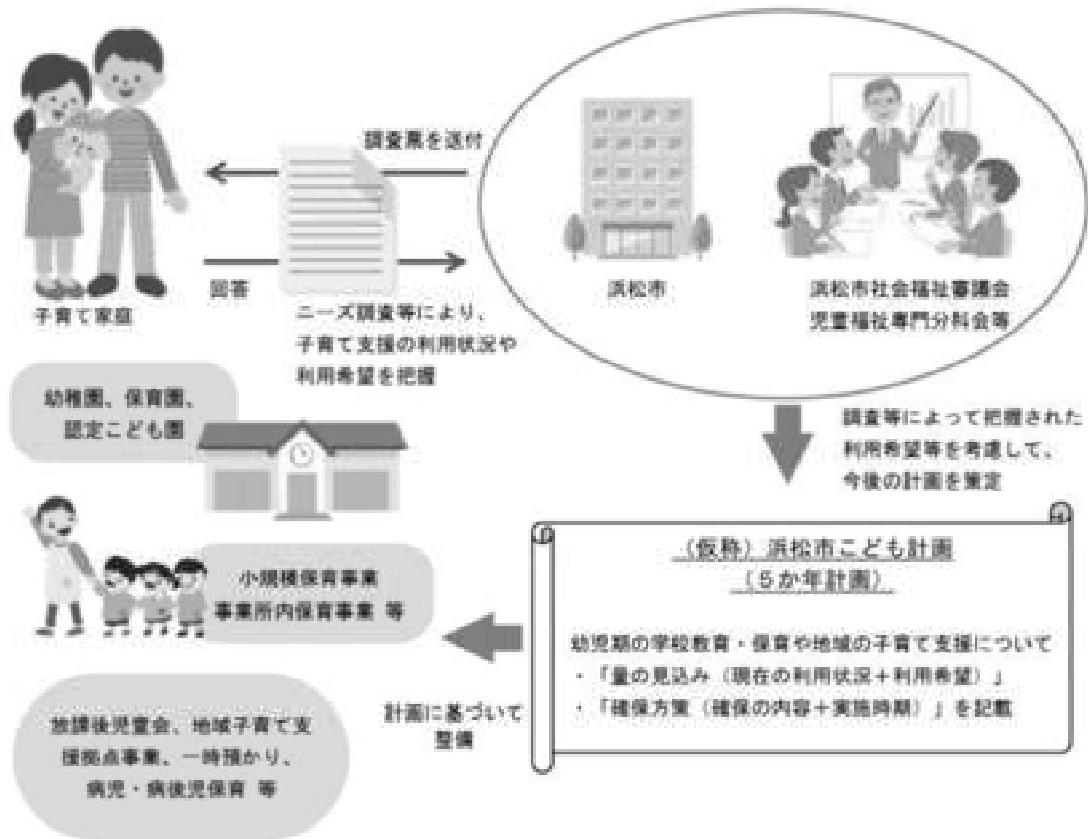


- ・ご回答は、ご家族や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票のページが多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最後までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、選択してください。
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ご返送締め切り日 令和6年2月13日(火)

【お問い合わせ先】浜松市役所 こども家庭部 次世代育成課
電話：053-457-2795 F A X：053-457-2039
メール：katei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

子ども・子育て支援の制度の目的



用語の定義

・子育て支援：教育・保育その他の子供の健やかな成長のために行われる支援

●お住まいの地域について

問1 お住まいの区を教えてください。(○は1つ)

1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。(□内に数字でご記入ください。数字は一種に一字右詰)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(当てはまる番号に○を、□内に数字でご記入ください。数字は一種に一字右詰)

きょうだい数 □人 末子の生年月 1. 平成 2. 令和 □□年□□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方を宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係を教えてください。(○は1つ)

1. 配偶者はいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに 2. 主に母親
3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

●子供の育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子供をみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問7で「3.」または「4.」に〇をつけた方にうかがいます。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子供をみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子供の教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

1. いる/ある
2. いない/ない

問8で「1. いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族(配偶者を除く)
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館)
6. 保健所・保健センター(区役所健康づくり課)
7. 保育士
8. 幼稚園教諭
9. 学校の先生
10. 民生委員・児童委員
11. かかりつけの医師
12. 自治体の子育て関連担当窓口
13. その他 ()

問9 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業員含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 (○は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

【(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

- (1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

- (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず (例)「8時30分」や「18時00分」のように、24時間制でお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 (○は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

【(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

- (2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

1週あたり □ 日 1日当たり □ □ 時間 □ □ 分

- (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず (例)「8時30分」や「18時00分」のように、24時間制でお答えください。
 (□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

問10の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
 にかがいます。
 該当しない方は、問12へお進みください。

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
 実現できる見込みがある
- 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
 実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、
 実現できる見込みがある
- 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
 実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これ
 まで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。
 該当しない方は、問13へお進みください。

問12 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先、一番下の子供が 歳になったところに就労したい
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ (1)-1 希望する就労形態を教えてください。

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先、一番下の子供が 歳になったところに就労したい
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ (2)-1 希望する就労形態を教えてください。

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
- ⇒ 1週当たり 日 1日当たり 時間

●宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問13 平日の放課後に宛名のお子さんどのように過ごしていますか。一番多いものをお答えください。(○は1つ)

1. 自宅	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	→ 問15へ
4. 児童館	
5. 放課後児童会 ※1	→ 問14へ
6. 放課後子供教室 ※2	
7. 民間の学童保育・子供の預かり	
8. ファミリー・サポート・センター	→ 問15へ
9. 放課後等デイサービス	
10. その他(公園など)	

※1 放課後児童会 …浜松市の補助や委託を受けて運営されており、地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子供の生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 放課後子供教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

●放課後児童会の現在の利用状況について

問13で「5. 放課後児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問14 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会をどの程度利用していますか。

((1)～(3)について、それぞれ○は1つ)

また、利用したい時間帯を、□内に(例)「18時30分から19時00分のように24時間制の30分単位でご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字で右詰)

(1) 平日

1. 週4日以上利用している 2. 週1～3日利用している 3. 利用していない	}	⇒	利用している時間帯 放課後 から □□時□□分まで
------------------------------------------------	---	---	------------------------------

(2) 土曜日

1. ほぼ毎週利用している 2. 月に1～2日利用している 3. 利用していない	}	⇒	利用している時間帯 □□時□□分から□□時□□分まで
------------------------------------------------	---	---	-------------------------------

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. ほぼ毎日利用している 2. 時々利用している 3. 利用していない	}	⇒	利用している時間帯 □□時□□分から□□時□□分まで
--------------------------------------------	---	---	-------------------------------

問14-1 民間ではなく市が開設している放課後児童会を利用している理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. サービス内容がいいから 2. 市が開設しているため信頼があるから 3. 学校から近い場所で開設しているから 4. 子供の友達が利用しているから 5. 民間と比較して利用料が安いから 6. 市以外行っている学童又は子供の預かりを知らないから 7. その他 ()

●放課後児童会の利用希望について

問13で「5. 放課後児童会」に○をつけなかった方にうかがいます。

問15 宛名のお子さんについて、市の開設している放課後児童会の利用希望はありますか。

((1) ~ (3) について、それぞれ○は1つ)

また、利用したい時間帯を、□内に(例)「8:00~18:30」や「8:30~18:00」のように24時間制の30分単位でご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字右詰)

(1) 平日

1. 週4日以上利用したい 2. 週1~3日利用したい 3. 利用希望がない	⇒	利用したい時間帯 放課後から □□時□□分まで
----------------------------------------------	---	----------------------------

(2) 土曜日

1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1~2日利用したい 3. 利用希望がない	⇒	利用したい時間帯 □□時□□分から □□時□□分まで
----------------------------------------------	---	-------------------------------

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. ほぼ毎日利用したい 2. 時々利用したい 3. 利用希望がない	⇒	利用したい時間帯 □□時□□分から □□時□□分まで
------------------------------------------	---	-------------------------------

放課後児童会を「利用したい」と回答した方にうかがいます。

問15-1 サービスを利用したい主な理由は何ですか。(○は1つ)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が 1. 現在就労している 2. 現在就労しているが、もっと就労日数や時間を増やしたい 3. 就労予定がある/求職中である 4. 就労していないが、子供の教育などのため預けたい 5. 家族・親族などを介護しなくてはならない 6. 病気や障害を持っている 7. 学生である/就学したい 8. その他 ()

放課後児童会を「利用したい」と回答した方にうかがいます。

問15-2 放課後児童会について、何年生まで利用したいですか。(□内に数字で記入してください。数字は一桁に一字)

小学 □年生くらいまで

●その他

問16 お住まいの地域における子育ての環境や支援へ満足度について当てはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

満足度が低い	←-----→			満足度が高い
1	2	3	4	5

問17 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

問18 最後に、お子さんから浜松市への意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
「うれしいこと」「困っていること」「もっとこうなるといいなあ」と思うことを記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、投函してください。

令和5年度 子ども・子育てに関するニーズ調査 報告書

令和6年3月発行

編集・発行 浜松市 こども家庭部 次世代育成課

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2

電話 (053) 457-2795 FAX (053) 457-2039

メール katei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

浜松市 子どもの生活実態調査

調査報告書

令和6年3月

浜松市

目次

I 子ども・保護者調査	1
1. 調査概要	1
2. 調査結果	5
(1) 子どもの状況	6
①学習・教育	
②健康・生活習慣	
③社会性・将来の自立	
(2) 保護者の状況	37
①家庭の経済的困窮の状況	
②就労と子育ての両立	
③保護者の孤立・悩み	
(3) 各種支援・サービスの活用・認知状況	61
①保護者の事業利用状況	
②情報収集の現状と今後のニーズ	
(4) 貧困対策事業の利用ニーズ	67
①子どものニーズ	
②保護者のニーズ	
(5) 16～17歳の勤労状況	71
①勤労状況	
②稼いだお金の用途	
(6) 自由意見まとめ	73
II 支援者アンケート	77
1. 調査概要	77
2. 調査結果	79
(1) アンケート調査まとめ	80
(2) 記述意見まとめ	88
III 付録	91
1. アンケート調査票	
2. 集計結果	

I 子ども・保護者調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、浜松市が子ども支援の充実を図るにあたり、子育てや子どもの生活実態を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的に実施した。

(2) 調査事項

保護者調査	子ども調査
<ul style="list-style-type: none">・あなたと世帯のことについて・お子さんの両親について・家計状況について・お子さんとの関わりやお子さんの将来について・子育ての悩みや子育て支援の制度について	<ul style="list-style-type: none">・あなたのことについて・健康や食事のことについて・ふだんの生活のことについて・学校生活や勉強のことについて・ふだん感じていることについて

(3) 調査実施概要

- ①調査地域 浜松市全域
- ②調査対象 市内の小学5年生2,500人、中学2年生2,500人、その保護者5,000人(5,000世帯)
市内の16～17歳2,500人、その保護者2,500人(2,500世帯)
- ③抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ④調査方法 質問紙郵送法
- ⑤調査期間 令和6年1月1日～令和6年1月25日

(4) 回収状況(世帯ベース)

	発送数	有効回収数	有効回収率
小5・中2	5,000世帯	2,292件	45.8%
16～17歳	2,500世帯	853件	34.1%

(5) 回答者の属性

①子ども調査

学年等

小学5年生	中学2年生	16～17歳	無回答
1,206人 38.3%	1,058人 33.6%	853人 27.1%	28人 0.9%

②保護者調査

子から見た関係(小5・中2)

父親	母親	その他	無回答
384人 16.8%	1,885人 82.2%	13人 0.6%	10人 0.4%

子から見た関係（16～17歳）

父親	母親	その他	無回答
164人 19.2%	683人 80.1%	4人 0.5%	2人 0.2%

現在の婚姻状況（小5・中2）

結婚している (再婚、事実婚を含む)	離婚 (別居中を含む)	死別	未婚	無回答
2,069人 90.3%	180人 7.9%	24人 1.0%	12人 0.5%	7人 0.3%

現在の婚姻状況（16～17歳）

結婚している (再婚、事実婚を含む)	離婚 (別居中を含む)	死別	未婚	無回答
720人 84.4%	111人 13.0%	17人 2.0%	3人 0.4%	2人 0.2%

（6）本調査における困窮状況の区分の定義

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を「相対的貧困層」としている。

本調査においては、保護者用調査「問4」で世帯人数を、保護者用調査「問14」で可処分所得（50万円幅の区分による選択方式）についての回答を得ており、下図のとおり「困窮群」「困窮予備群」「一般群」に区分した。

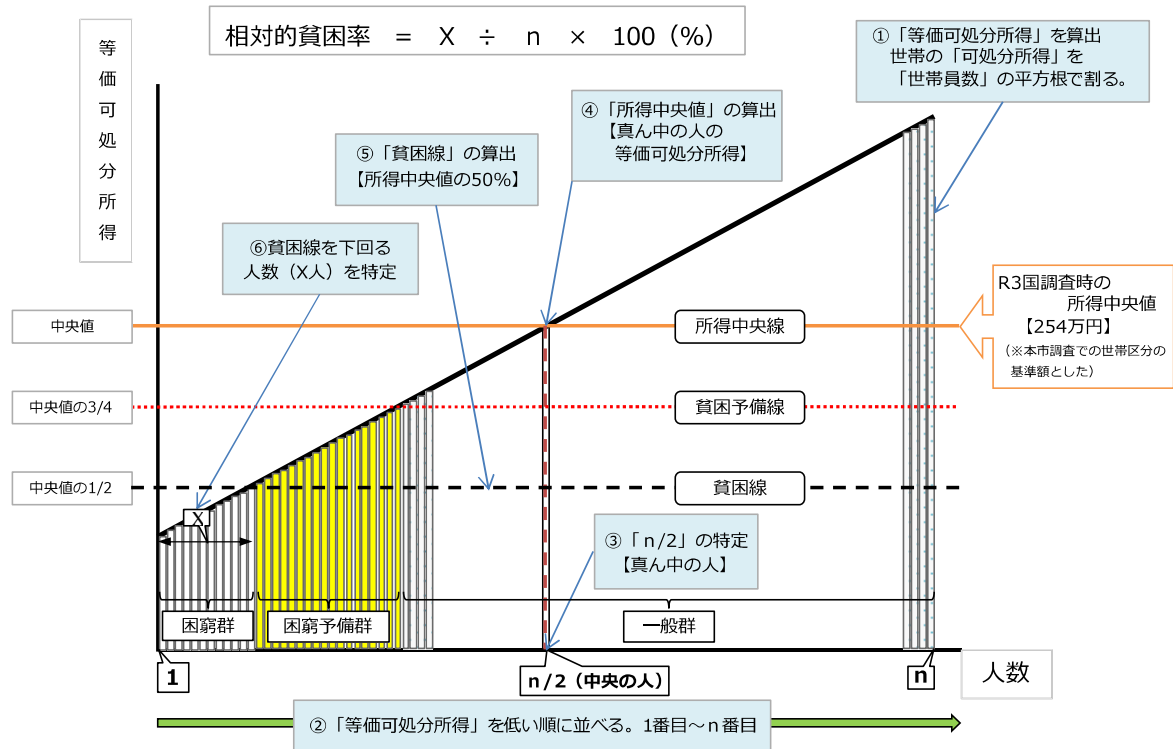
なお、本区分は目安であり、困窮群等に区分されたすべての世帯が、実際に困窮しているということではない。

<世帯人数ごとの困窮群・予備群とみなす区分>

(保護者用 問4) 世帯員数	R3 国調査の中央値 254万円				(保護者用 問14)													
	国調査 における 貧困線	困窮群 とみなす 回答区分	困窮予備群 (中央値の 3/4)	予備群 とみなす 回答区分	1~3 150万円 未満	4 150万円 ~ 200万円 未満	5 200万円 ~ 250万円 未満	6 250万円 ~ 300万円 未満	7 300万円 ~ 350万円 未満	8 350万円 ~ 400万円 未満	9 400万円 ~ 450万円 未満	10 450万円 ~ 500万円 未満	11 500万円 ~ 550万円 未満	12~20 550万円 ~ 1000万円 未満	21 1000万円 以上	22 わからない	無回答	
2人世帯	179万円	200万円 未満	268万円	300万円 未満		★		☆										
3人世帯	219万円	250万円 未満	329万円	350万円 未満			★		☆									
4人世帯	253万円	300万円 未満	380万円	400万円 未満				★		☆								
5人世帯	283万円	300万円 未満	424万円	450万円 未満				★			☆							
6人世帯	310万円	350万円 未満	465万円	500万円 未満					★			☆						
7人世帯	335万円	350万円 未満	502万円	550万円 未満					★				☆					
8人以上 世帯	358万円	400万円 未満	537万円	550万円 未満	◆困窮群 (中央値の1/2以下)					★				☆				
無回答																		

	小5・中2	16～17歳	合計
▶生活困窮群 : 等価可処分所得が中央値の1/2以下相当	131人	66人	197人
▶困窮予備群 : 等価可処分所得が中央値の1/2超3/4以下相当	208人	78人	286人
▶一般群 : 等価可処分所得が中央値の3/4超相当	1,720人	638人	2,358人
▶判定不能 : 世帯人数・可処分所得が不明・無回答	233人	71人	304人

【参考】等価可処分所得から困窮群等を設定する方法（貧困線等の設定の考え方）



(7) 報告書内のデータ記述について

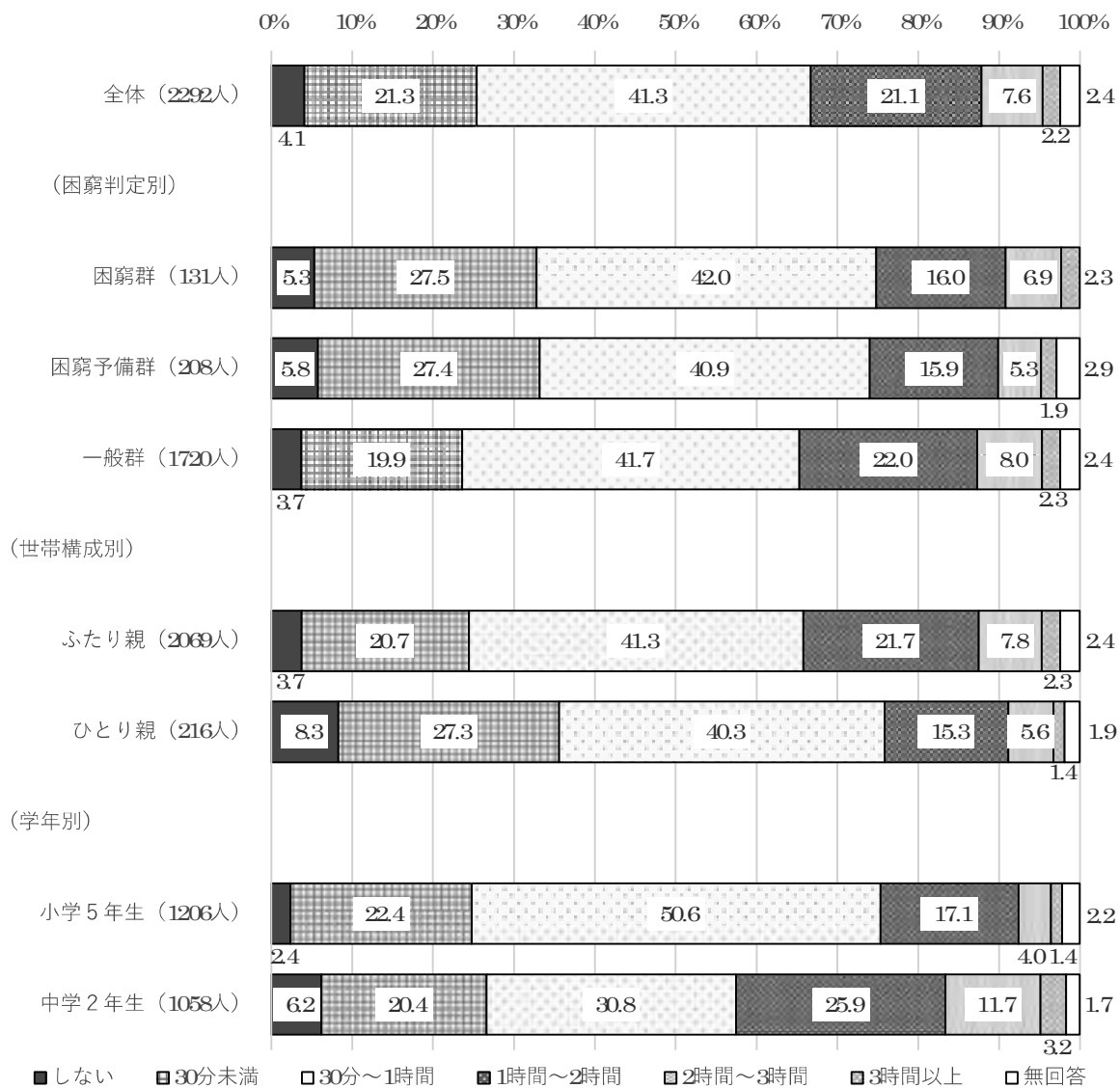
- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- ②質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- ③図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。
- ④クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

2. 調査結果

(1) 子どもの状況

①学習・教育

【小5・中2】学校のある日の放課後の勉強時間（塾等含む） 「問12-a」

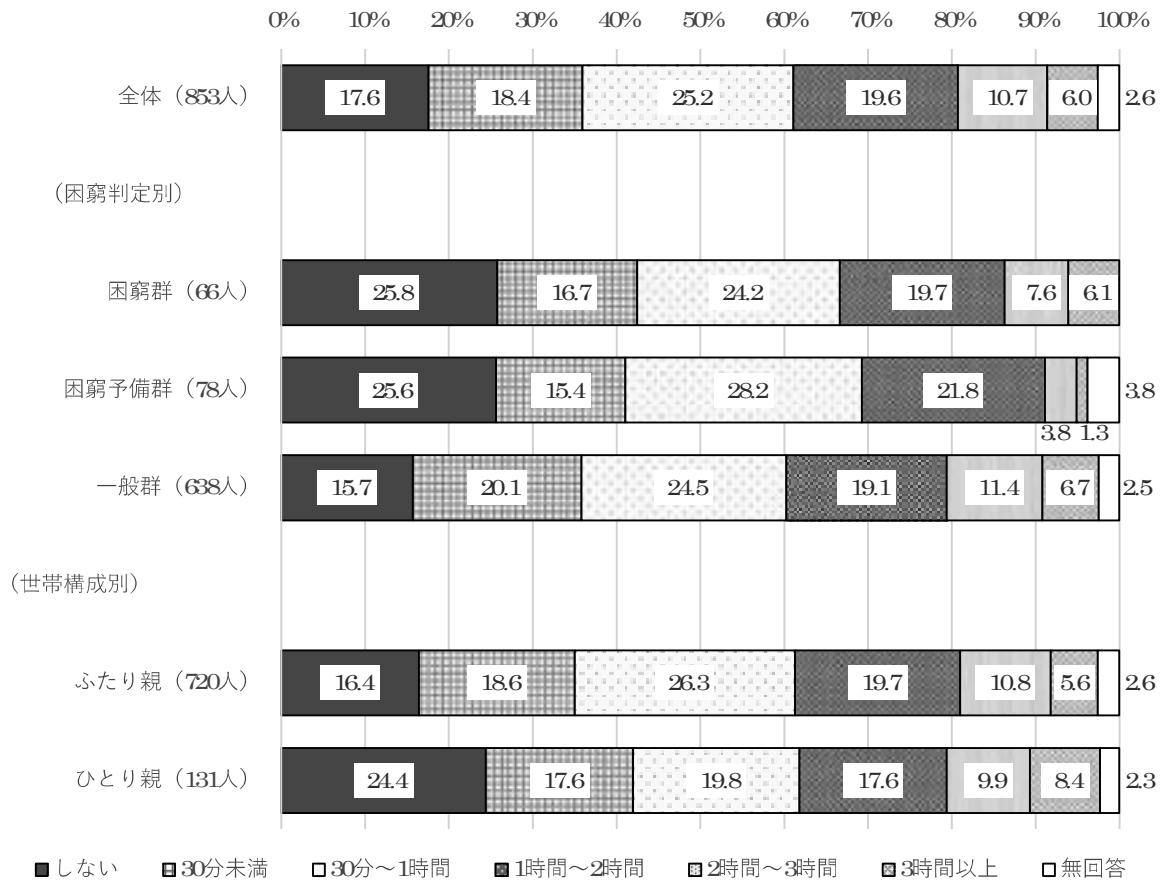


学校のある日の放課後の勉強時間（塾等含む）について、全体では「30分～1時間」が41.3%で最も高かった。「しない」は4.1%。「しない」と「30分未満」（21.3%）を合わせた『30分未満』は25.4%となった。

困窮判定別に『30分未満』の割合をみると、困窮群32.8%、困窮予備群33.2%、一般群23.6%と困窮群、困窮予備群が一般群より約10ポイント高かった。

世帯構成別に『30分未満』の割合をみると、ふたり親24.4%、ひとり親35.6%となった。

【16～17歳】学校の放課後や仕事がない時・寝るまでの勉強時間（塾等含む） 「問 14-a」

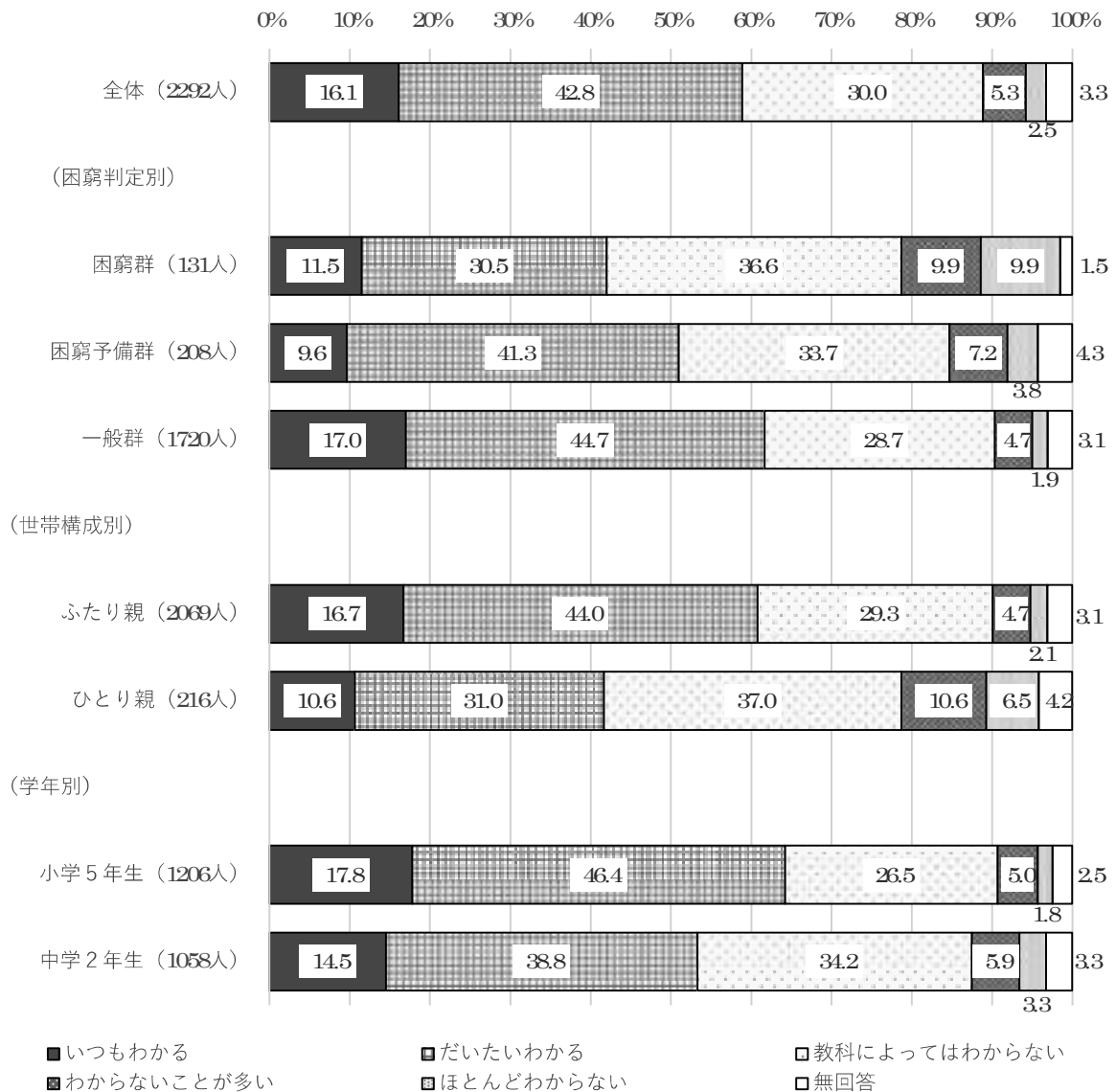


学校の放課後や仕事がない時・寝るまでの勉強時間（塾等含む）について、全体では「30分～1時間」が25.2%で最も高かった。「しない」は17.6%。「しない」と「30分未満」（18.4%）を合わせた『30分未満』は36.0%となった。

困窮判定別に『30分未満』の割合をみると、困窮群42.5%、困窮予備群41.0%、一般群35.8%と困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。

世帯構成別に『30分未満』の割合をみると、ふたり親35.0%、ひとり親42.0%となった。

【小5・中2】学校の授業がわからないことがあるか 「問 18」



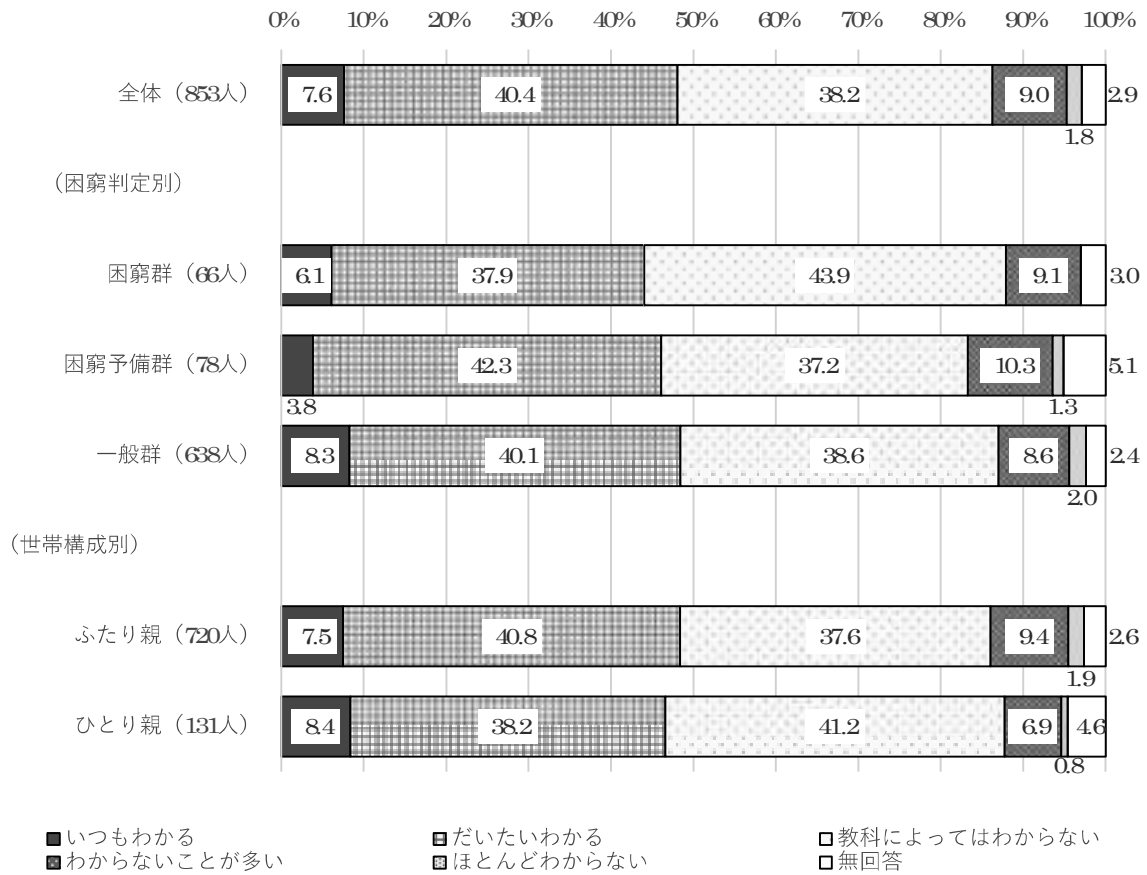
学校の授業の理解度について、全体では「いつもわかる」(16.1%)と「だいたいわかる」(42.8%)を合わせた『わかる』は58.9%となった。「教科によってはわからない」(30.0%)、「わからないことが多い」(5.3%)、「ほとんどわからない」(2.5%)をあわせた『わからない』は37.8%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『わかる』が低く、『わからない』が高くなっており、困窮群は『わかる』42.0%、『わからない』56.4%となった。

世帯構成別にみると、『わかる』はふたり親が60.7%、ひとり親が41.6%と19.1ポイントの差がみられた。

学年別にみると、『わかる』は小学5年生が64.2%、中学2年生が53.3%と10.9ポイントの差がみられた。

【16～17 歳】学校の授業がわからないことがあるか 「問 20」

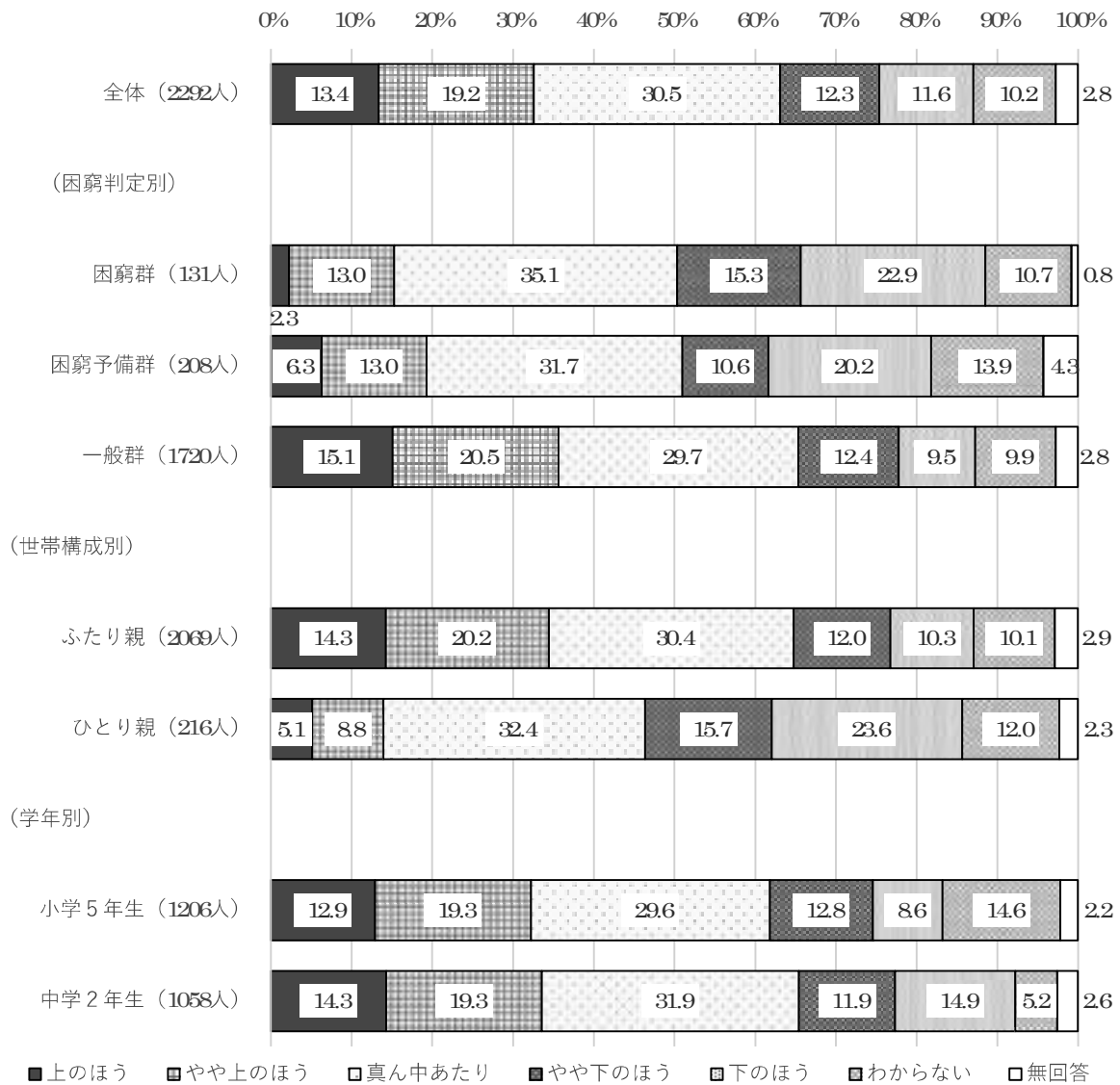


学校の授業の理解度について、全体では「いつもわかる」(7.6%)と「だいたいわかる」(40.4%)を合わせた『わかる』は48.0%となった。「教科によってはわからない」(38.2%)、「わからないことが多い」(9.0%)、「ほとんどわからない」(1.8%)をあわせた『わからない』は49.0%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『わかる』が低く、『わからない』が高くなっており、困窮群は『わかる』44.0%、『わからない』53.0%となった。

世帯構成別にみると、『わかる』はふたり親が48.3%、ひとり親が46.6%と1.7ポイントの差がみられた。

【小5・中2】自分の成績はクラスの中でどれくらいと思うか 「問 20」

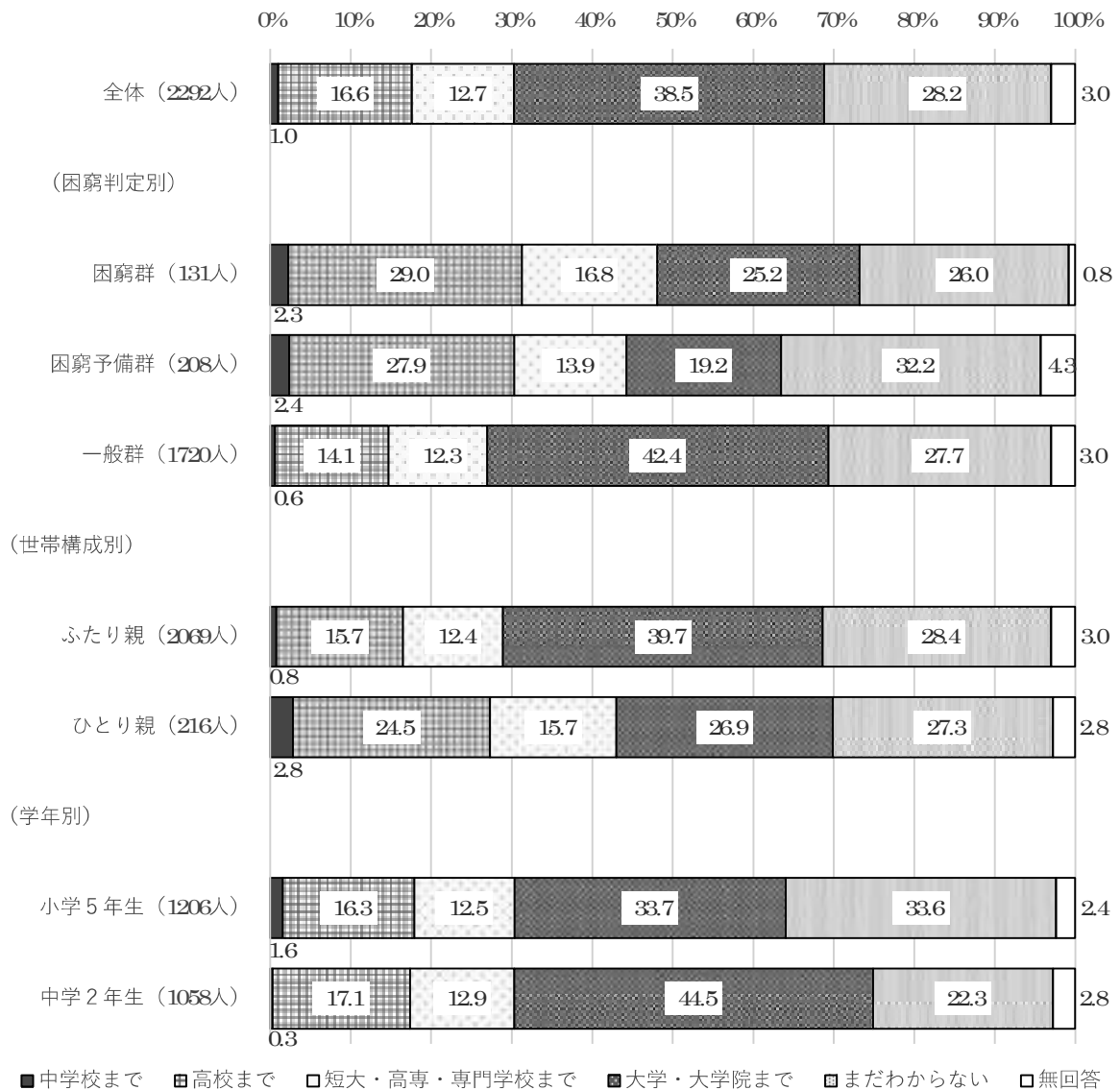


自分の成績はクラスの中でどれくらいと思うかについて、全体では「真ん中あたり」が 30.5%で最も高かった。「上のほう」(13.4%)と「やや上のほう」(19.2%)を合わせた『上のほう』は 32.6%、「やや下のほう」(12.3%)と「下のほう」(11.6%)を合わせた『下のほう』は 23.9%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『上のほう』が低く、『下のほう』が高くなっており、困窮群は『上のほう』(15.3%)が『下のほう』(38.2%)を 22.9ポイント下回った。

世帯構成別にみると、ふたり親は『上の方』が『下の方』を上回っているが、ひとり親は『下の方』が『上の方』を上回っている。

【小5・中2】 将来どの学校まで進みたいか 「問 21」

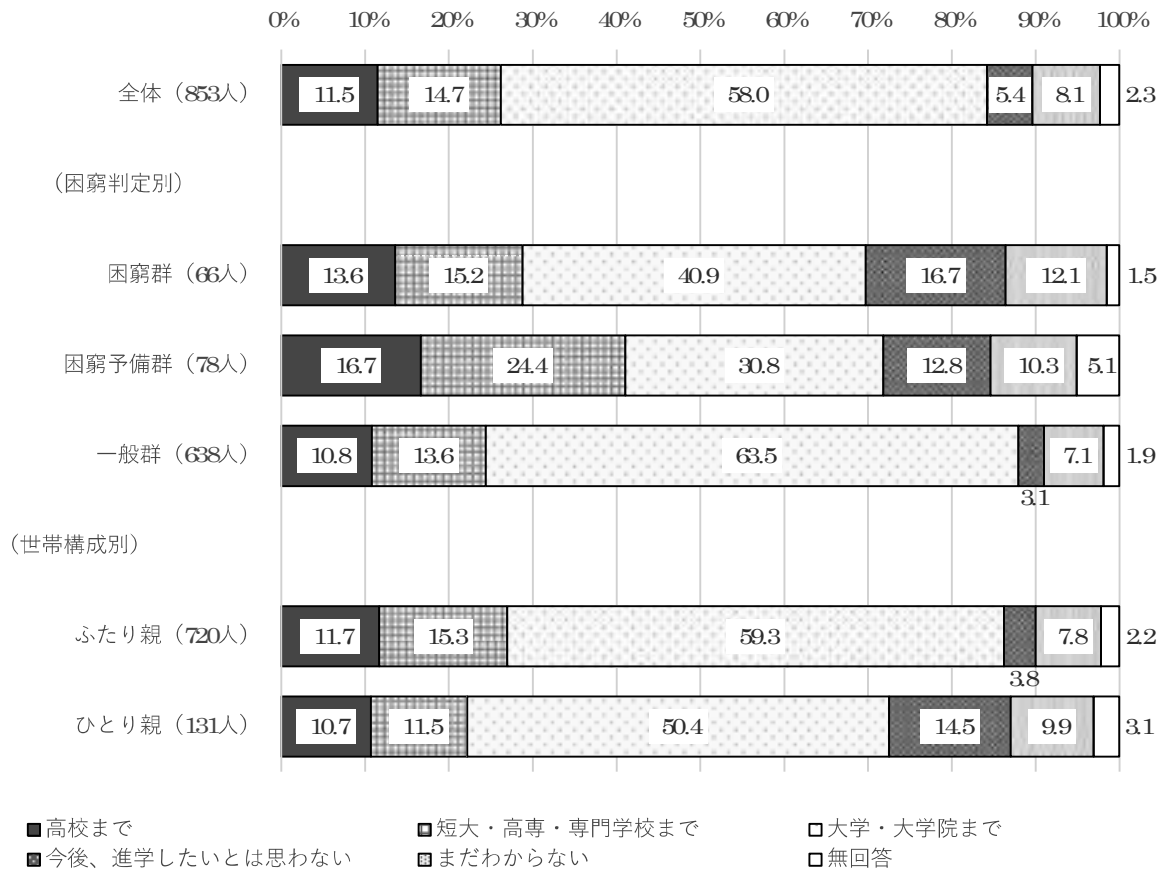


将来どの学校まで進みたいかについて、全体では「大学・大学院まで」が38.5%で最も高かった。「中学校まで」(1.0%)と「高校まで」(16.6%)を合わせた『高校まで』は17.6%だった。

困窮判定別にみると、困窮群と困窮予備群は一般群と比較して、『高校まで』が15ポイント程度高く、「大学・大学院まで」が20ポイント程度低かった。

世帯構成別にみると、『高校まで』はひとり親の方が10.8ポイント高かった。

【16～17歳】将来どの学校まで進みたいか 「問 22」

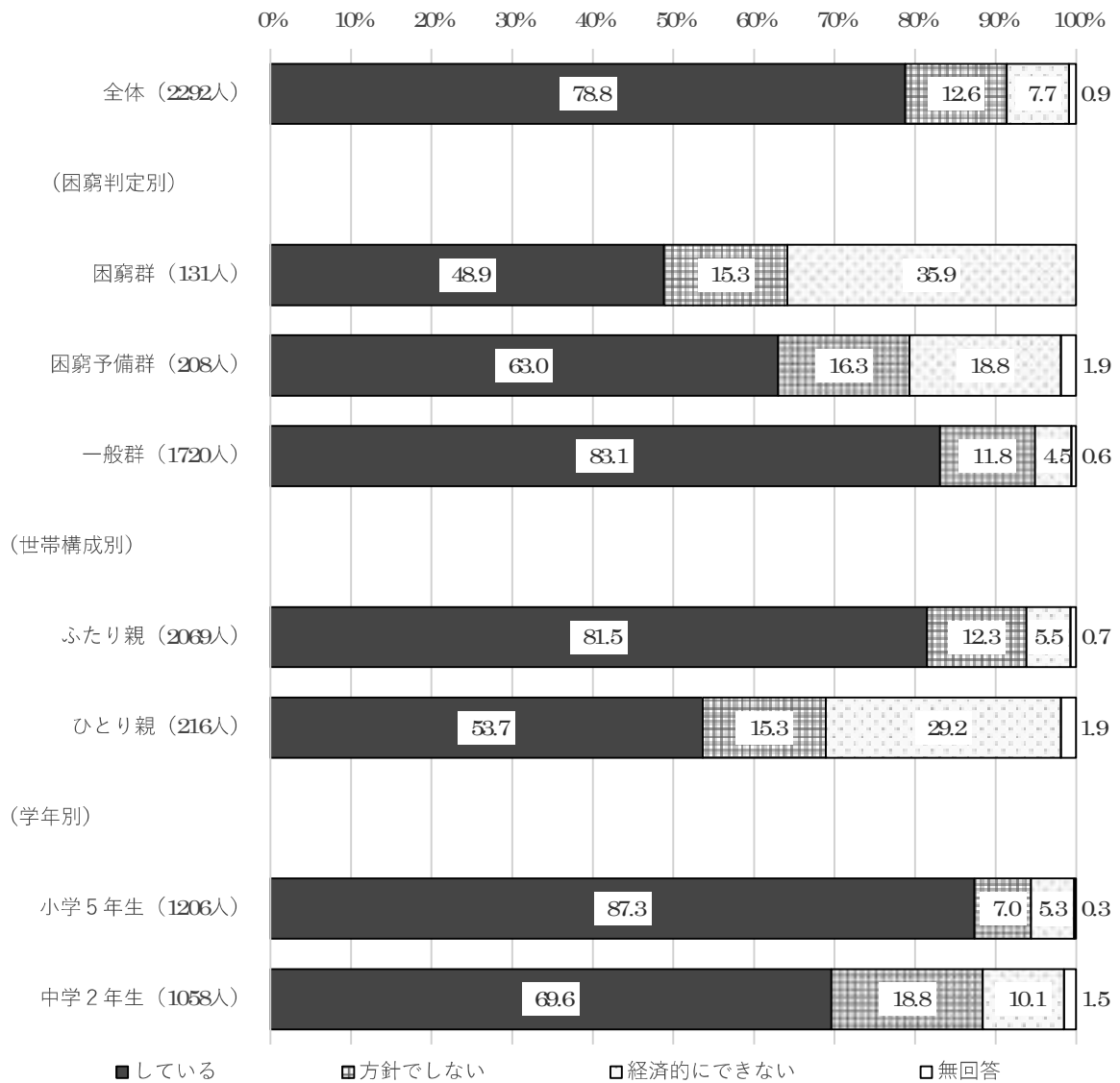


将来どの学校まで進みたいかについて、全体では「大学・大学院まで」が58.0%で最も高かった。「高校まで」(11.5%)と「今後進学したいとは思わない」(5.4%)を合わせた『高校まで』は16.9%だった。

困窮判定別にみると、困窮群と困窮予備群は一般群と比較して、『高校まで』は15ポイント程度高く、「大学・大学院まで」は困窮群が22.6ポイント、困窮予備群が32.7ポイント低かった。

世帯構成別にみると、『高校まで』はひとり親の方が9.7ポイント高かった。

【小5・中2保護者】親が習い事に通わせているか 「問 16-c」

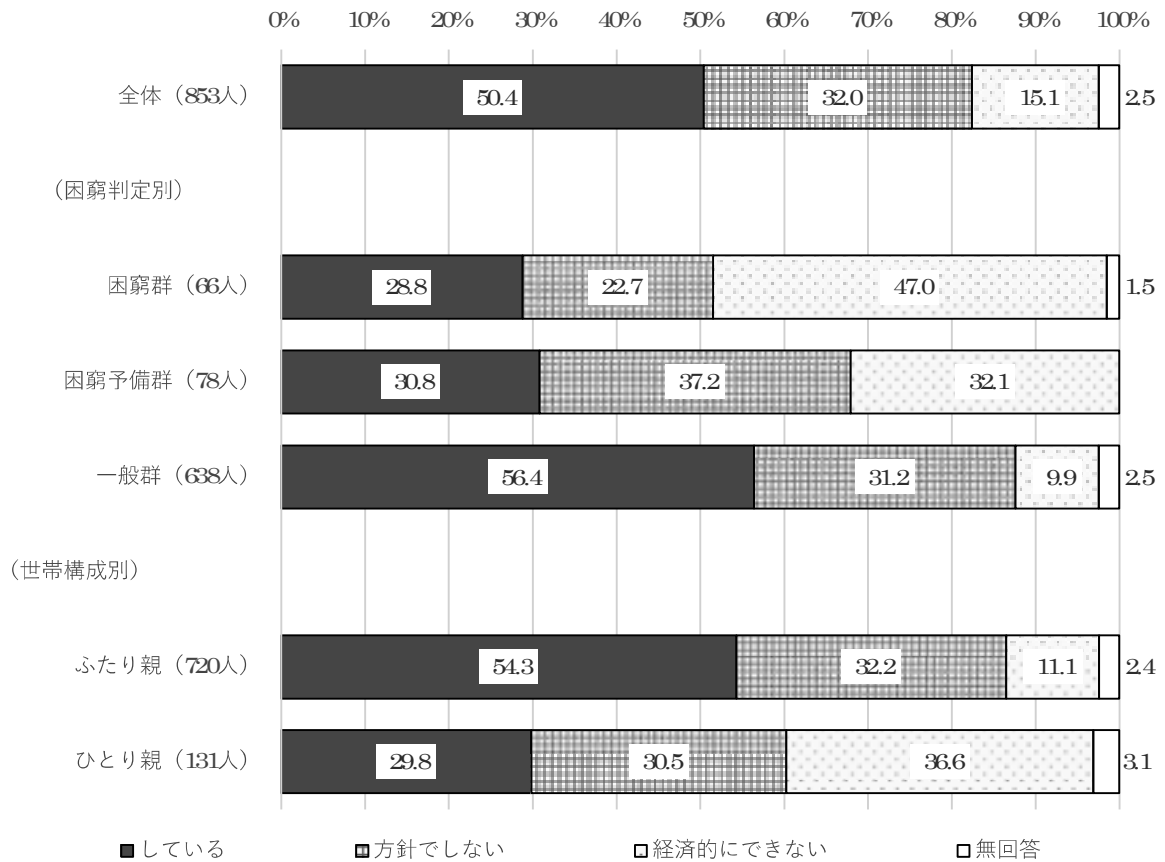


親が習い事に通わせているかについて、全体では「している」が78.8%となった。通わせていない理由については、「方針でしない」が12.3%、「経済的にできない」が7.7%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「している」が低くなり、一般群(83.1%)と困窮群(48.9%)は34.2ポイントの差があった。また、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」が高くなり、一般群が4.5%にとどまるのに対し、困窮群は35.9%と高かった。

世帯構成別に「経済的にできない」をみると、ふたり親が5.5%、ひとり親が29.2%となり、ひとり親の方が23.7ポイント高かった。

【16～17歳 保護者】親が習い事に通わせているか 「問 16-c」

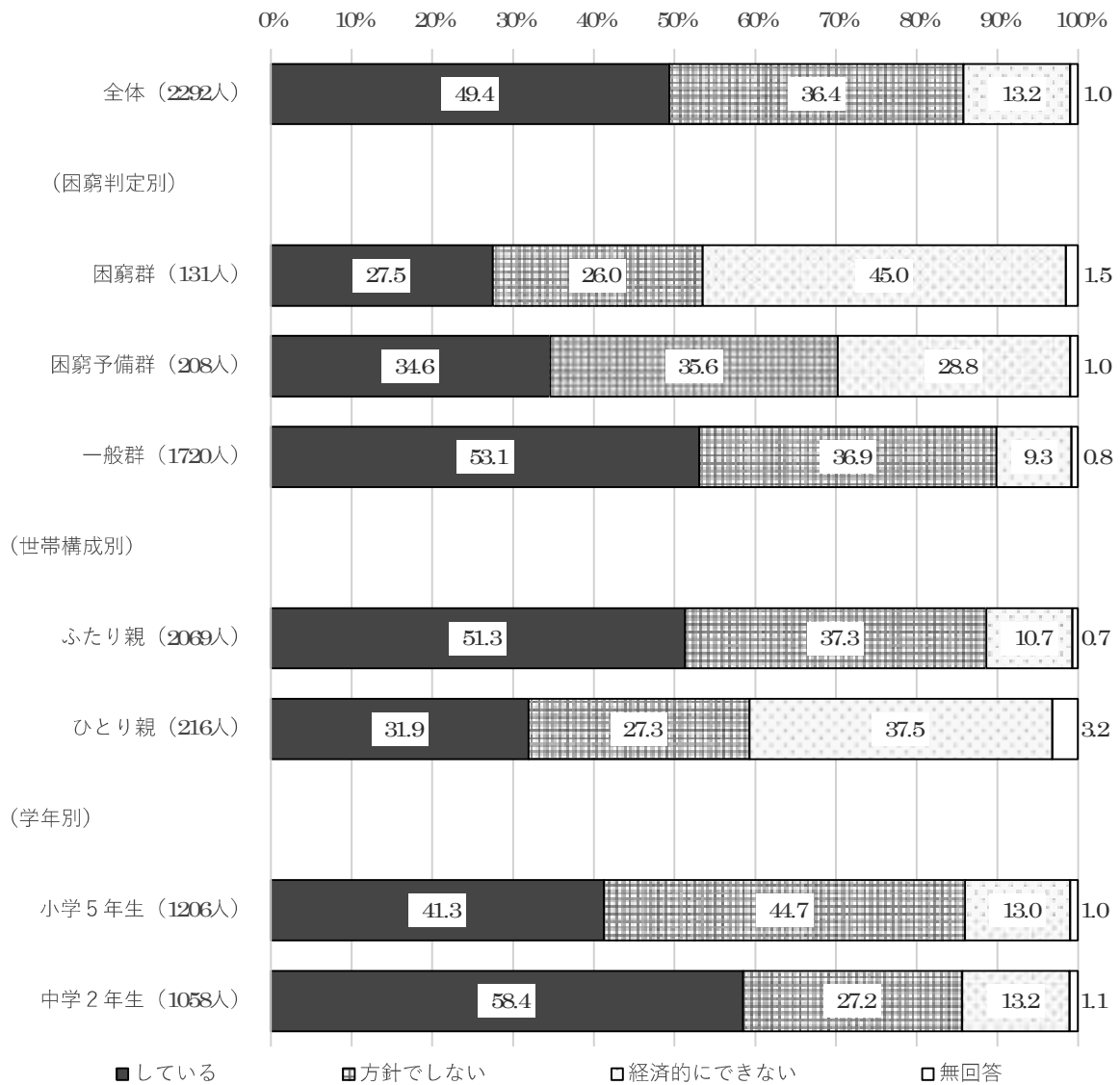


親が習い事に通わせているかについて、全体では「している」が50.4%と半分を占めた。通わせていない理由については、「方針でしない」が32.0%、「経済的にできない」が15.1%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「している」が低くなり、一般群(56.4%)と困窮群(28.8%)は27.6ポイントの差があった。また、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」が高くなり、一般群が9.9%にとどまるのに対し、困窮群は47.0%と高かった。

世帯構成別に「経済的にできない」をみると、ふたり親が11.1%、ひとり親が36.6%となり、ひとり親の方が25.5ポイント高かった。

【小5・中2保護者】親が学習塾に通わせているか 「問 16-d」

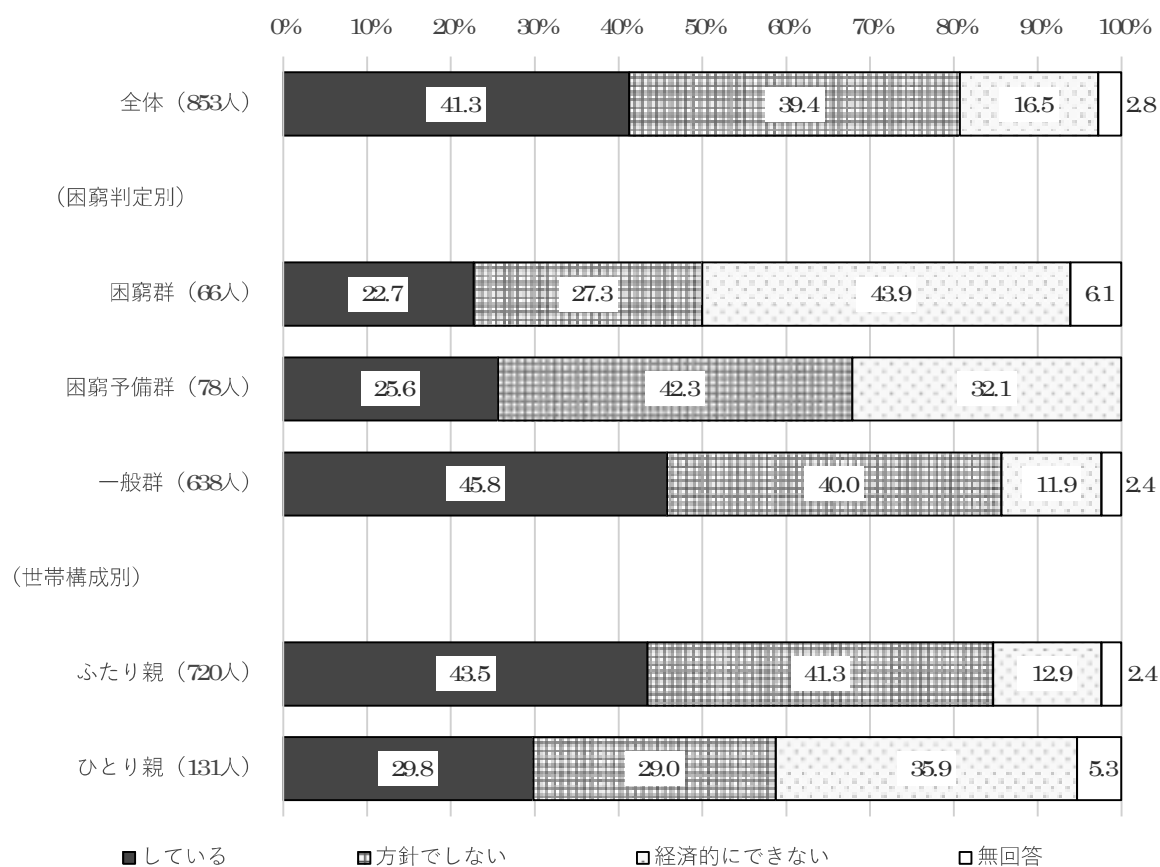


親が学習塾に通わせているかについて、全体では「している」が49.4%と半分を占めた。通わせていない理由については、「方針でしない」が36.4%、「経済的にできない」が13.2%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「している」が低くなり、一般群(53.1%)と困窮群(27.5%)は25.6ポイントの差があった。また、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」が高くなり、一般群が9.3%にとどまるのに対し、困窮群は45.0%と高かった。

世帯構成別に「経済的にできない」をみると、ふたり親が10.7%、ひとり親が37.5%となり、ひとり親の方が26.8ポイント高かった。

【16～17歳 保護者】親が学習塾に通わせているか 「問 16-d」



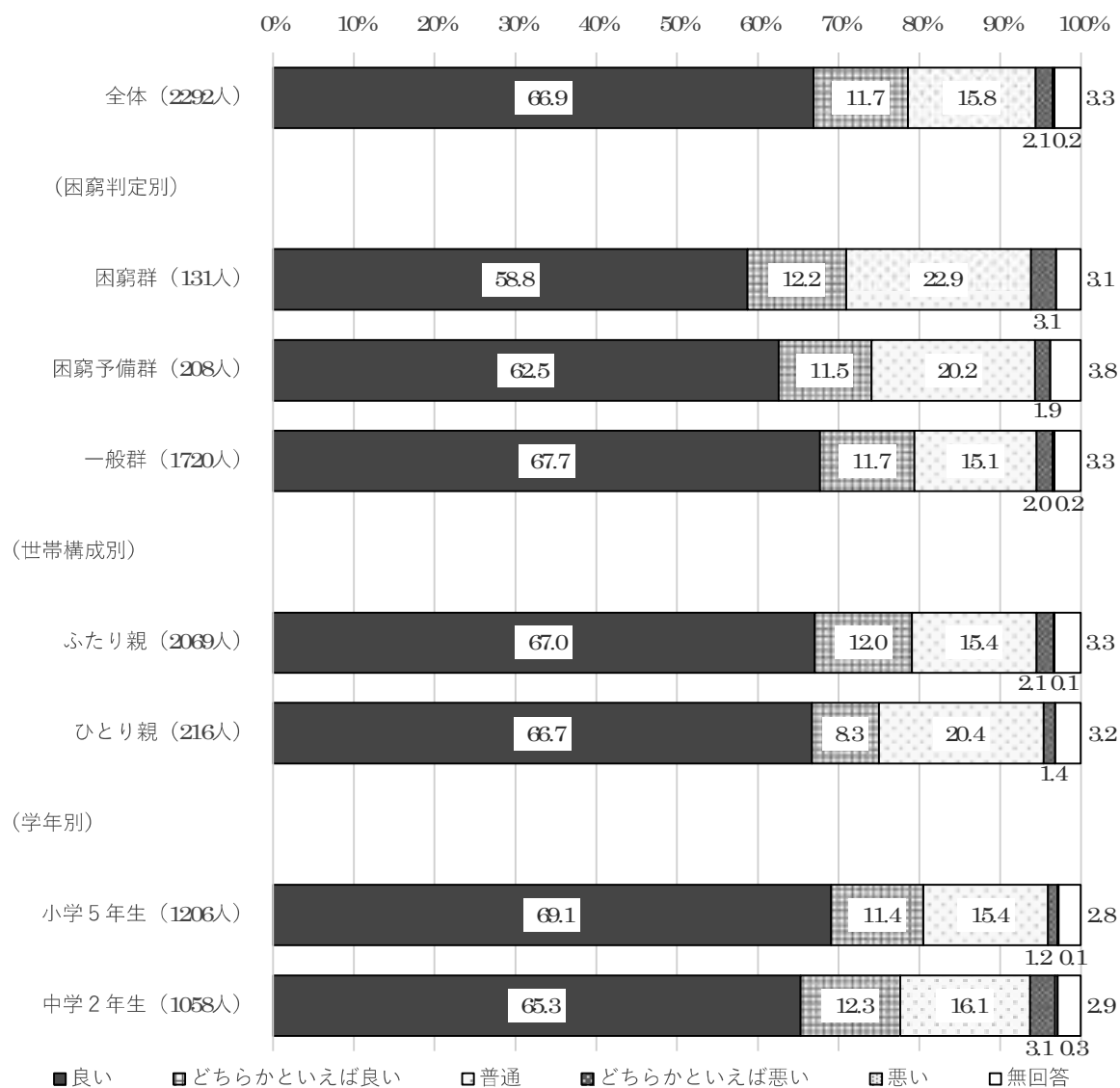
親が学習塾に通わせているかについて、全体では「している」が41.3%となった。通わせていない理由については、「方針でしない」が39.4%、「経済的にできない」が16.5%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「している」が低くなり、一般群(45.8%)と困窮群(22.7%)は23.1ポイントの差があった。また、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」が高くなり、一般群が11.9%にとどまるのに対し、困窮群は43.9%と高かった。

世帯構成別に「経済的にできない」をみると、ふたり親が12.9%、ひとり親が35.9%となり、ひとり親の方が23.0ポイント高かった。

②健康・生活習慣

【小5・中2】今の健康状態 「問3」

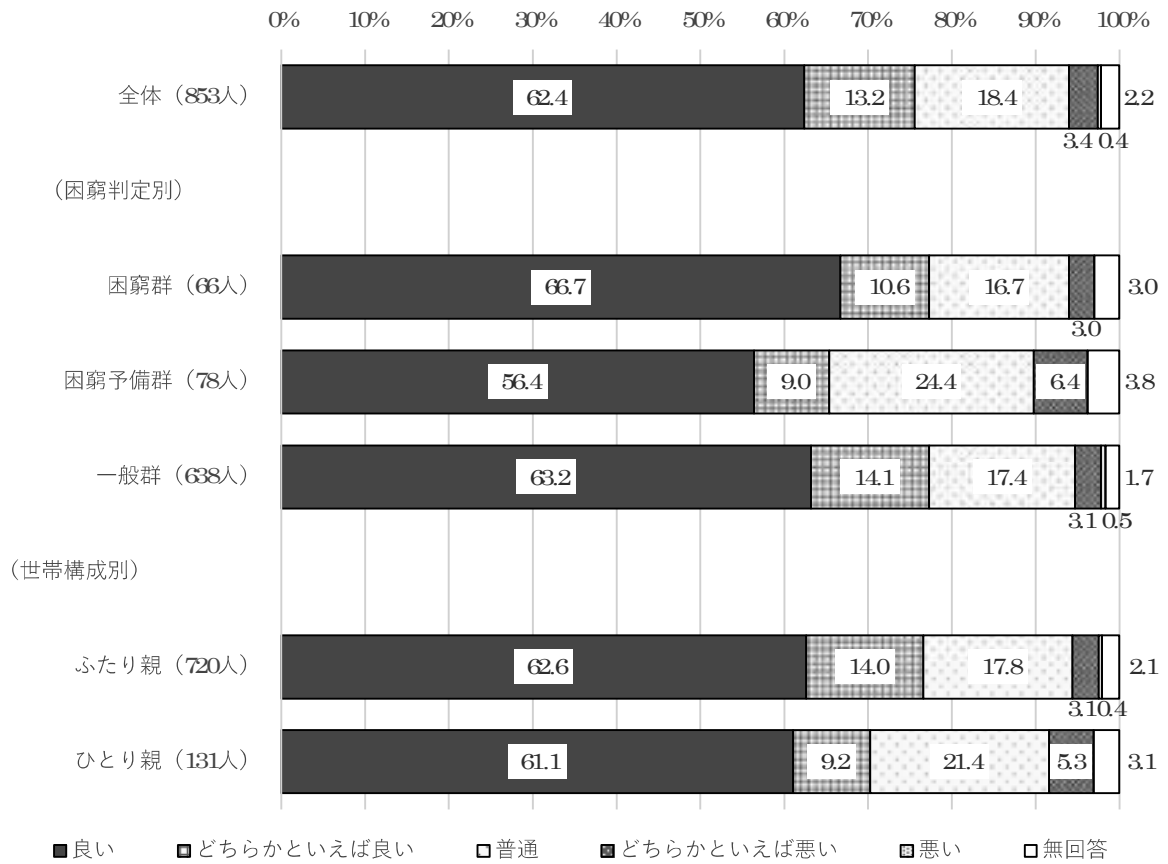


今の健康状態について、全体では「良い」が66.9%で最も高かった。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い』は78.6%で、「どちらかといえば悪い」(2.1%)と「悪い」(0.2%)を合わせた『悪い』は2.3%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『良い』が低くなり、『悪い』が高くなっている。ただし、困窮群でも『良い』(71.0%)が『悪い』(3.1%)を大幅に上回っている。

世帯構成別にみると、『良い』はふたり親が79.0%、ひとり親が75.0%となった。

【16～17歳】今の健康状態 「問5」

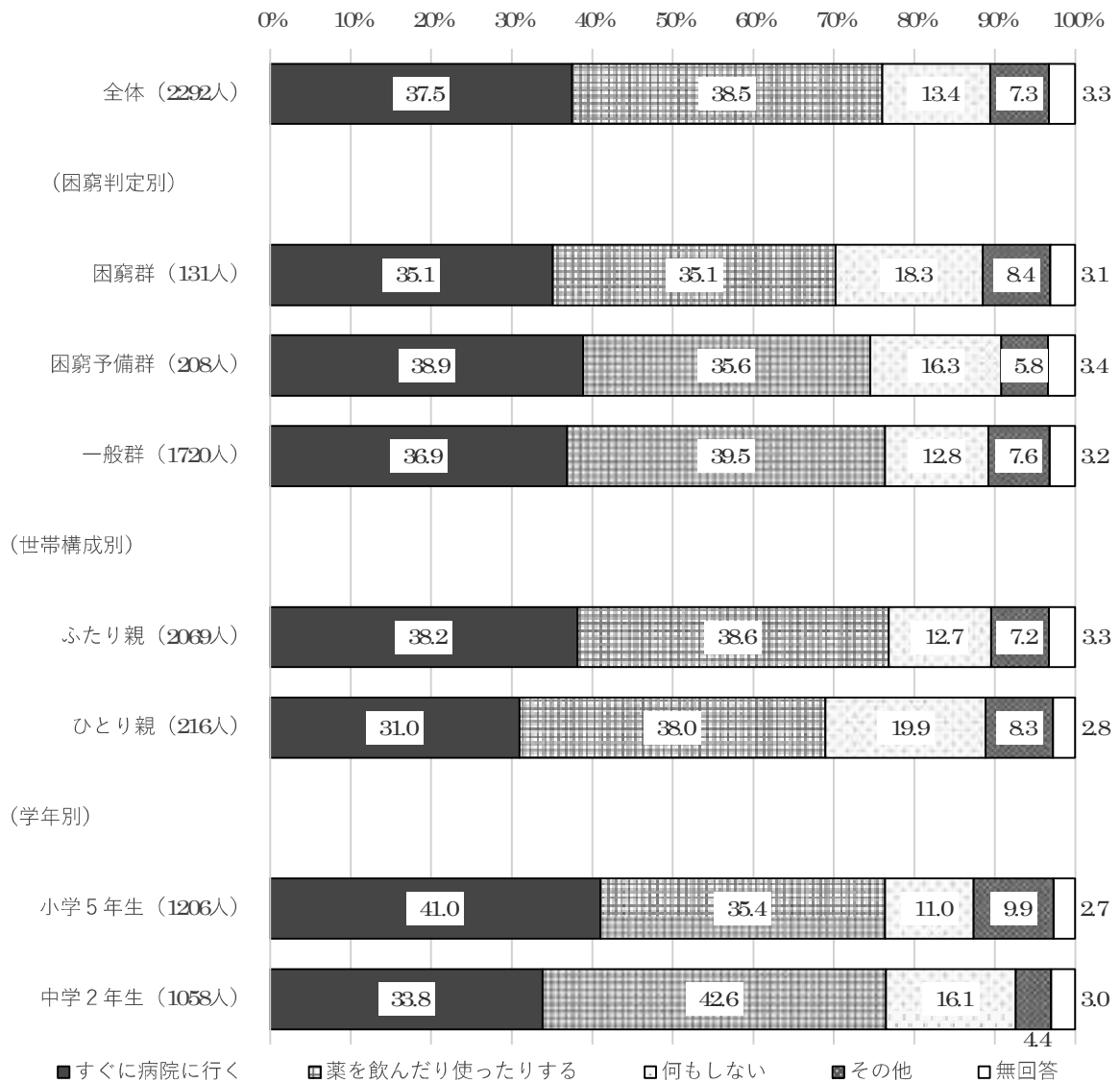


今の健康状態について、全体では「良い」が62.4%で最も高かった。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い』は75.6%で、「どちらかといえば悪い」(3.4%)と「悪い」(0.4%)を合わせた『悪い』は3.8%にとどまった。

困窮判定別にみると、特に困窮予備群で『良い』が低くなり、『悪い』が高くなっている。困窮群でも『良い』(77.3%)が『悪い』(3.0%)を大幅に上回っている。

世帯構成別にみると、『良い』はふたり親が76.6%、ひとり親が70.3%となった。

【小5・中2】体調が悪い時やけが、歯痛の時にどうするか 「問4」

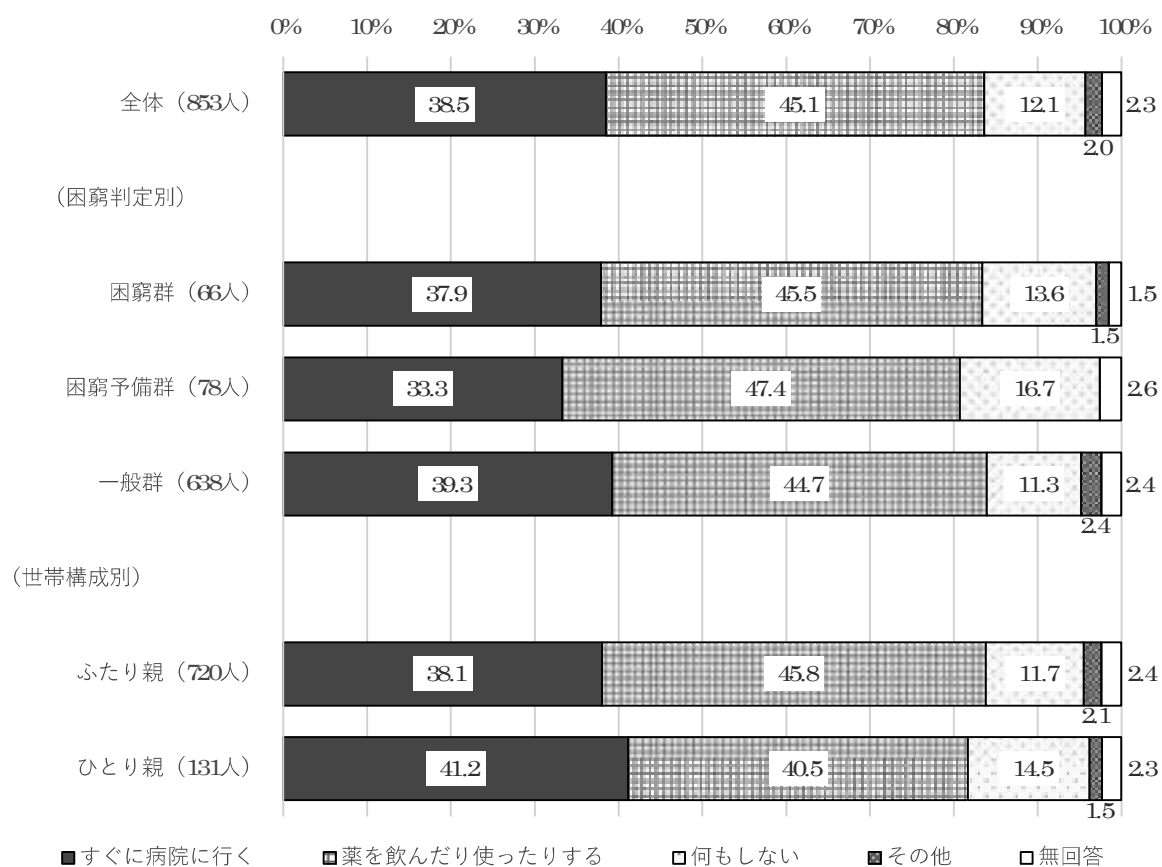


体調が悪い時やけが・歯痛の時どうするかについて、全体では「薬を飲んだり使ったりする」が38.5%で最も高かった。次いで「すぐに病院に行く」が37.5%で高く、「何もしない」は13.4%だった。

困窮判定別にみると、「すぐに病院に行く」はいずれも30%代後半で大きな差はなかったが、「何もしない」は困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。

世帯構成別でみると、「すぐに病院に行く」はふたり親が38.2%、ひとり親が31.0%となった。

【16～17歳】体調が悪い時やけが、歯痛の時にどうするか 「問6」

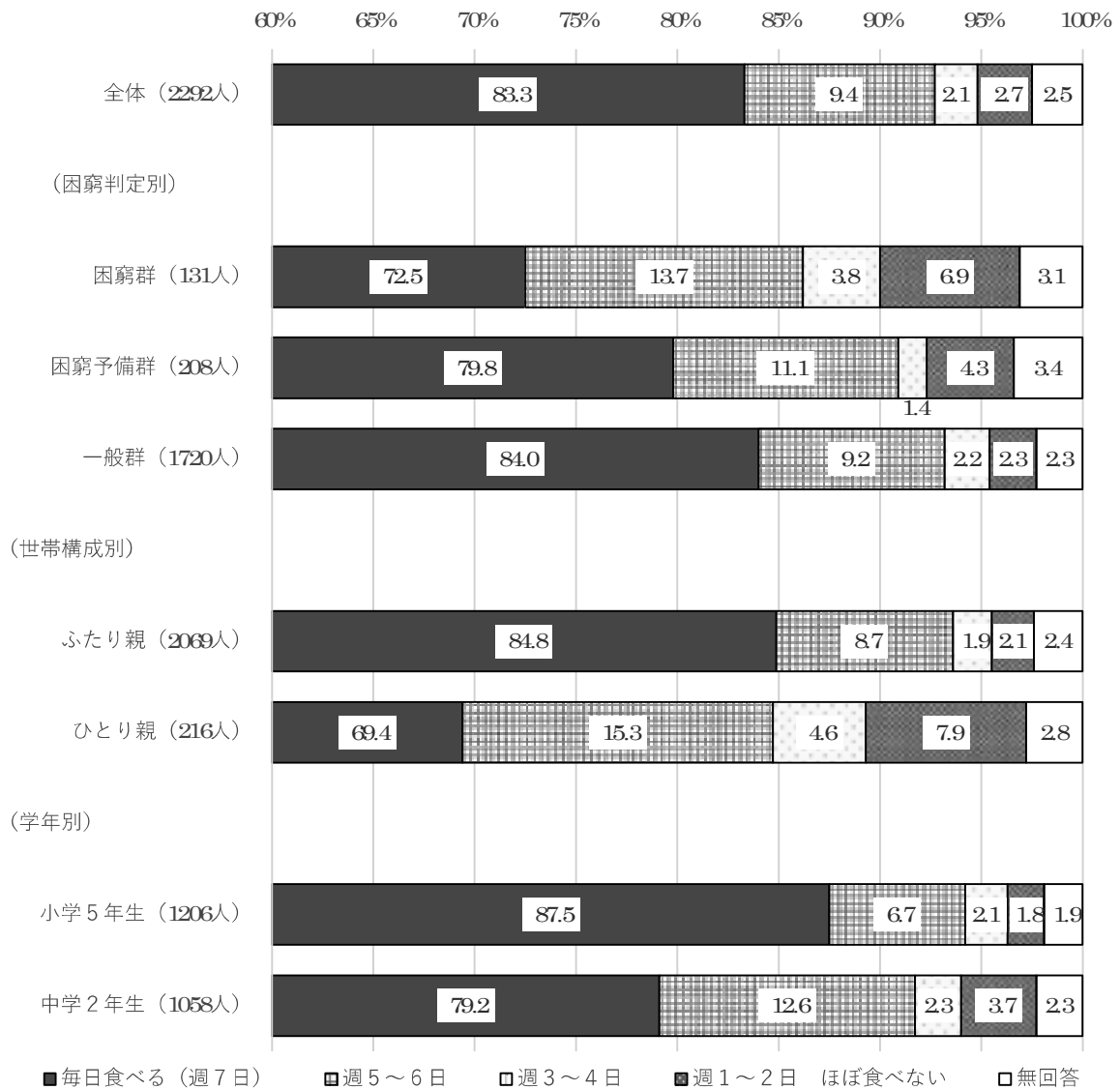


体調が悪い時やけが・歯痛の時にどうするかについて、全体では「薬を飲んだり使ったりする」が45.1%で最も高かった。次いで「すぐに病院に行く」が38.5%で高く、「何もしない」は12.1%だった。

困窮判定別にみると、「すぐに病院に行く」はいずれも30%代で大きな差はなかったが、「何もしない」は困窮予備群で16.7%と最も回答割合が高かった。

世帯構成別でみると、「すぐに病院に行く」はふたり親が38.1%、ひとり親が41.2%とひとり親が3.1ポイント高いものの、「何もしない」もひとり親が2.8ポイント高くなっている。

【小5・中2】週にどのくらい朝食をとっているか 「問5-a」



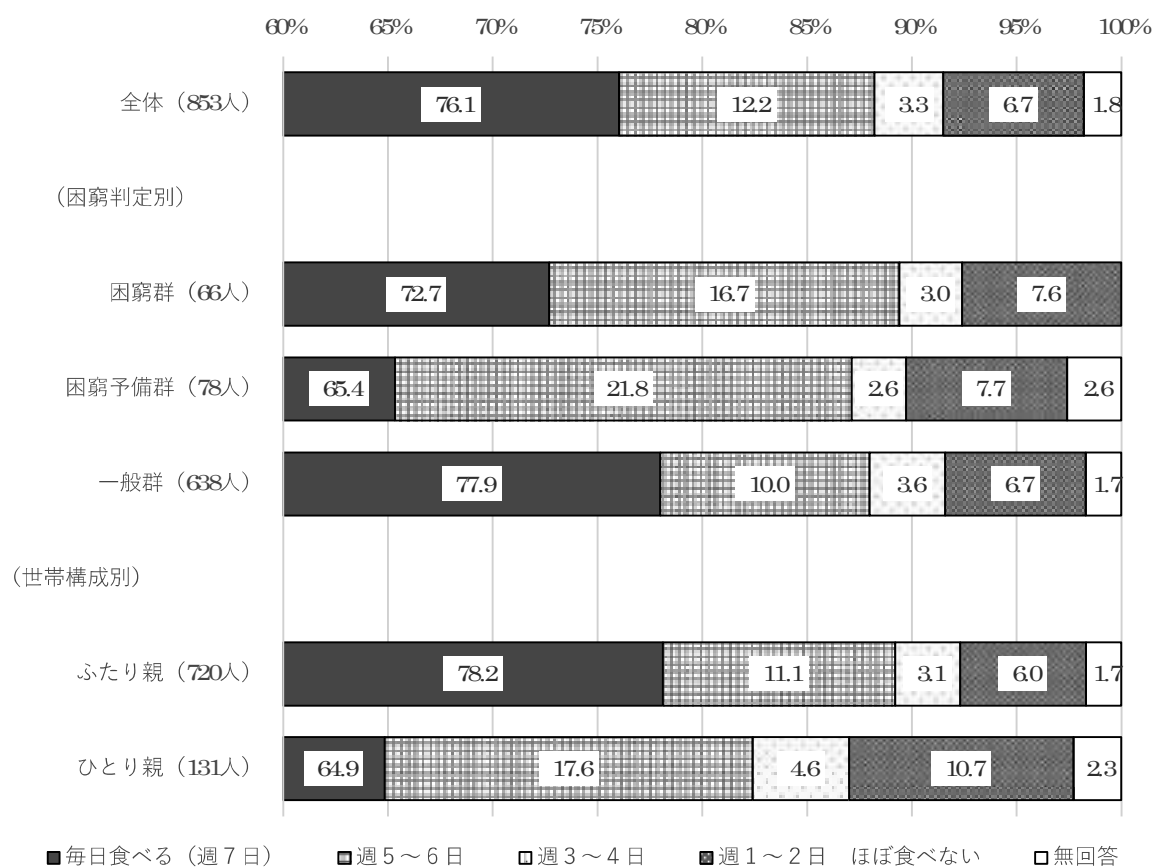
*目盛りの下限値を60%で調整

週にどのくらい朝食をとっているかについて、全体では「毎日食べる」が83.3%で圧倒的に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群では「毎日食べる」が72.5%となり、困窮度合いが高いほど「毎日食べる」が低くなっている。

世帯構成別に「毎日食べる」をみると、ふたり親が84.8%、ひとり親が69.4%となり、ひとり親の方が15.4ポイント低かった。

【16～17歳】週にどのくらい朝食をとっているか 「問7-a」



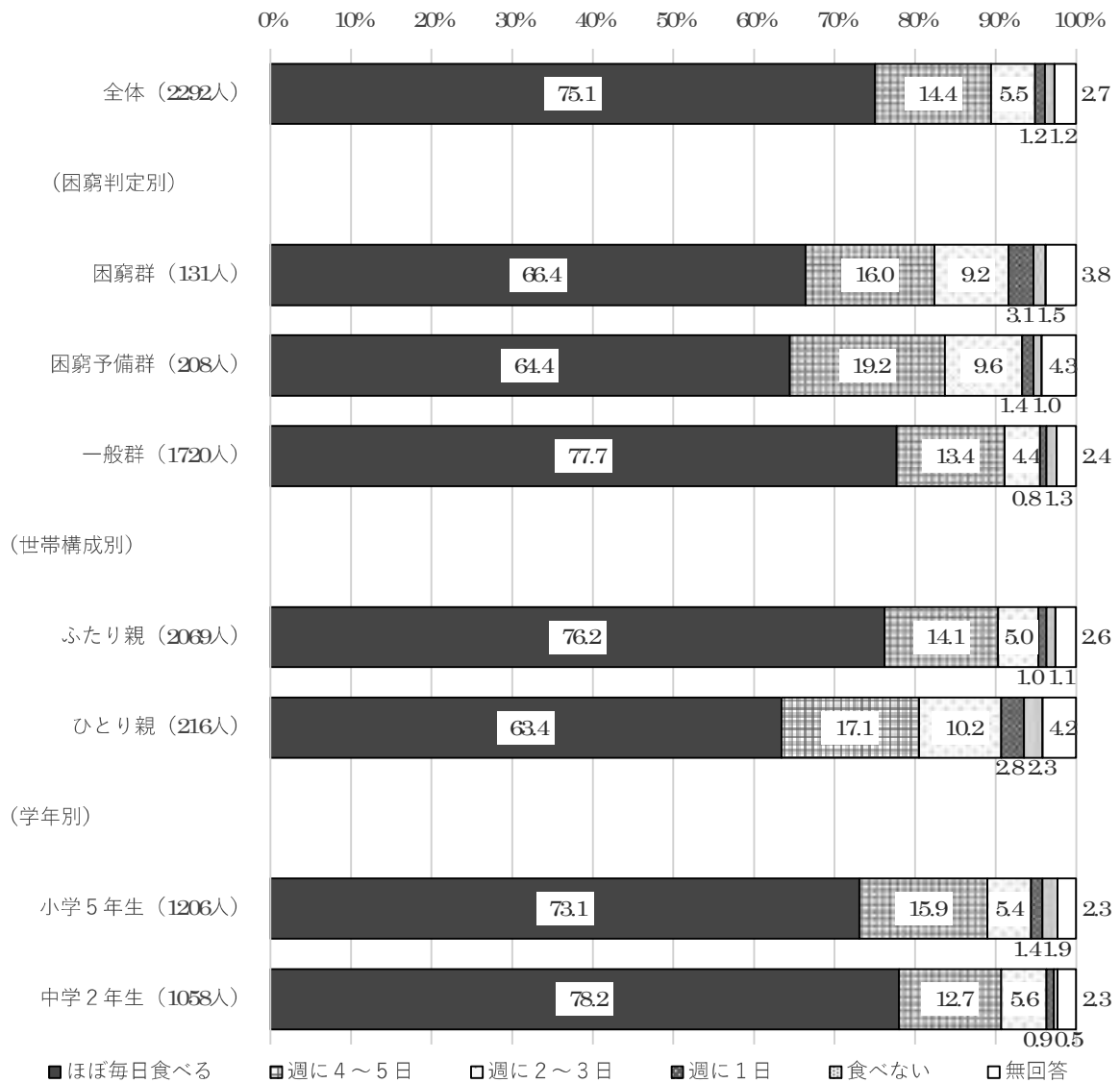
*目盛りの下限値を60%で調整

週にどのくらい朝食をとっているかについて、全体では「毎日食べる」が76.1%で圧倒的に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群では「毎日食べる」が72.7%と高かったが、困窮予備群では65.4%となっている。

世帯構成別に「毎日食べる」をみると、ふたり親が78.2%、ひとり親が64.9%となり、ひとり親の方が13.3ポイント低かった。

【小5・中2】給食を除き、野菜をどれくらい食べているか 「問7-b」

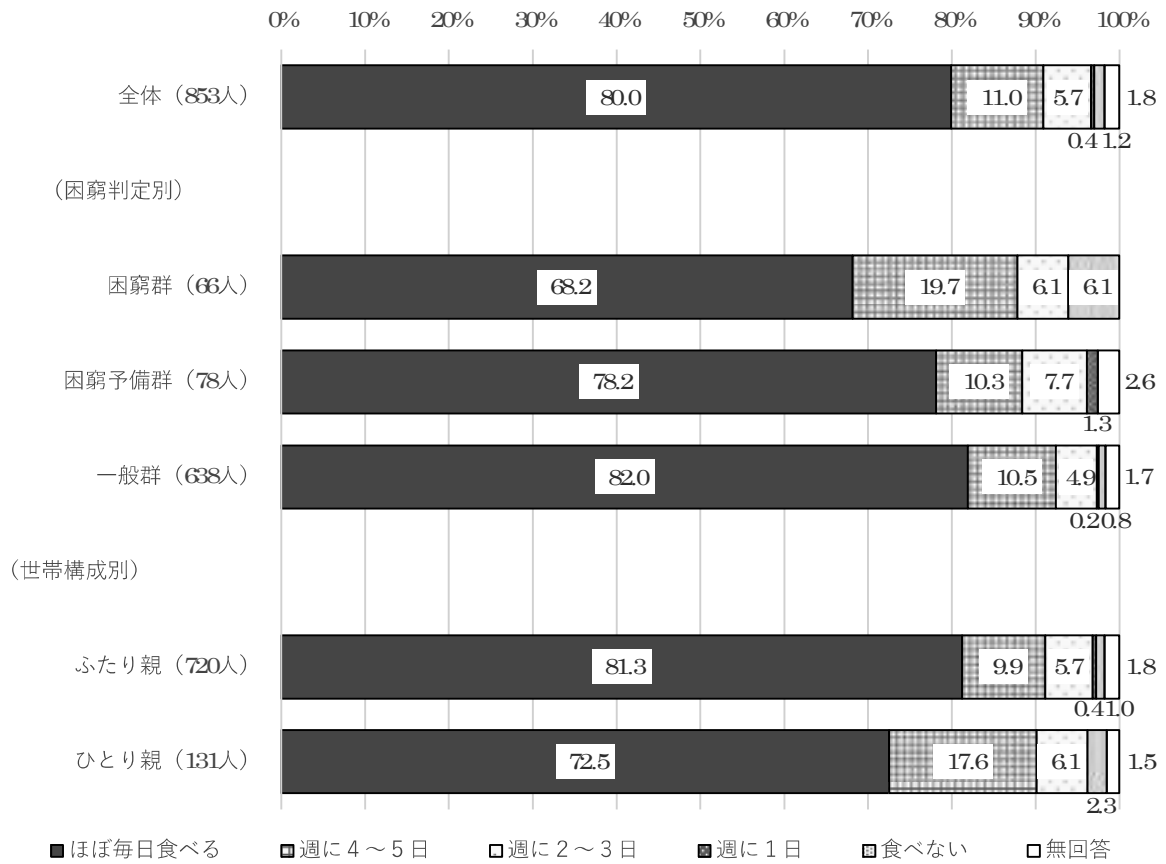


給食を除き、野菜をどれくらい食べているかについて、全体では「ほぼ毎日食べる」が75.1%で最も高かった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「ほぼ毎日食べる」が低い傾向にあった。

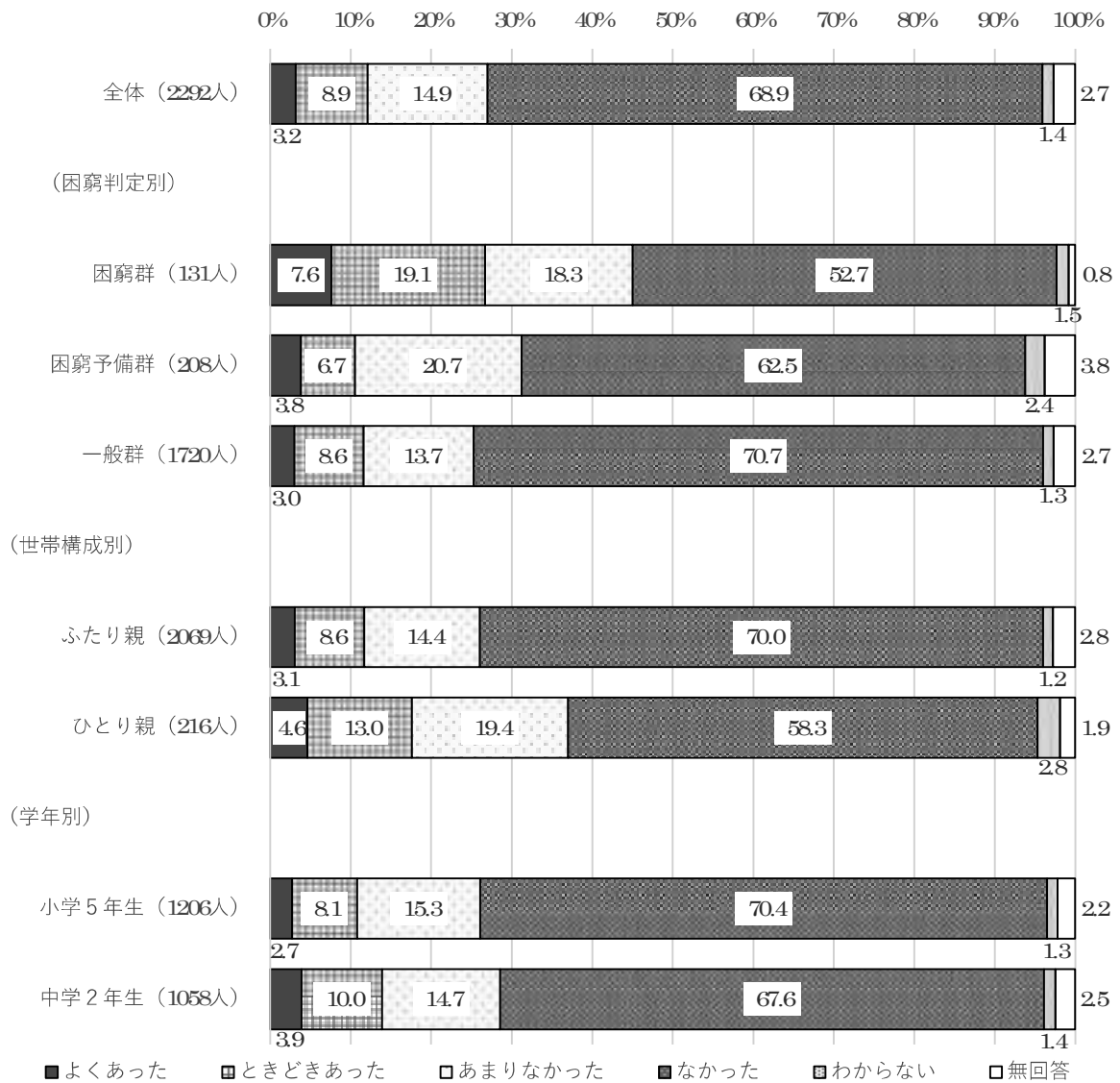
世帯構成別に「ほぼ毎日食べる」をみると、ふたり親が76.2%、ひとり親が63.4%となり、ひとり親の方が12.8ポイント低かった。

【16～17歳】野菜をどれくらい食べているか 「問 9-b」



野菜をどれくらい食べているかについて、全体では「ほぼ毎日食べる」が80.0%で最も高かった。困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「ほぼ毎日食べる」が低かった。世帯構成別に「ほぼ毎日食べる」をみると、ふたり親が81.3%、ひとり親が72.5%となり、ひとり親の方が8.8ポイント低かった。

【小5・中2】学校に遅刻したことがあるか 「問 23-e」

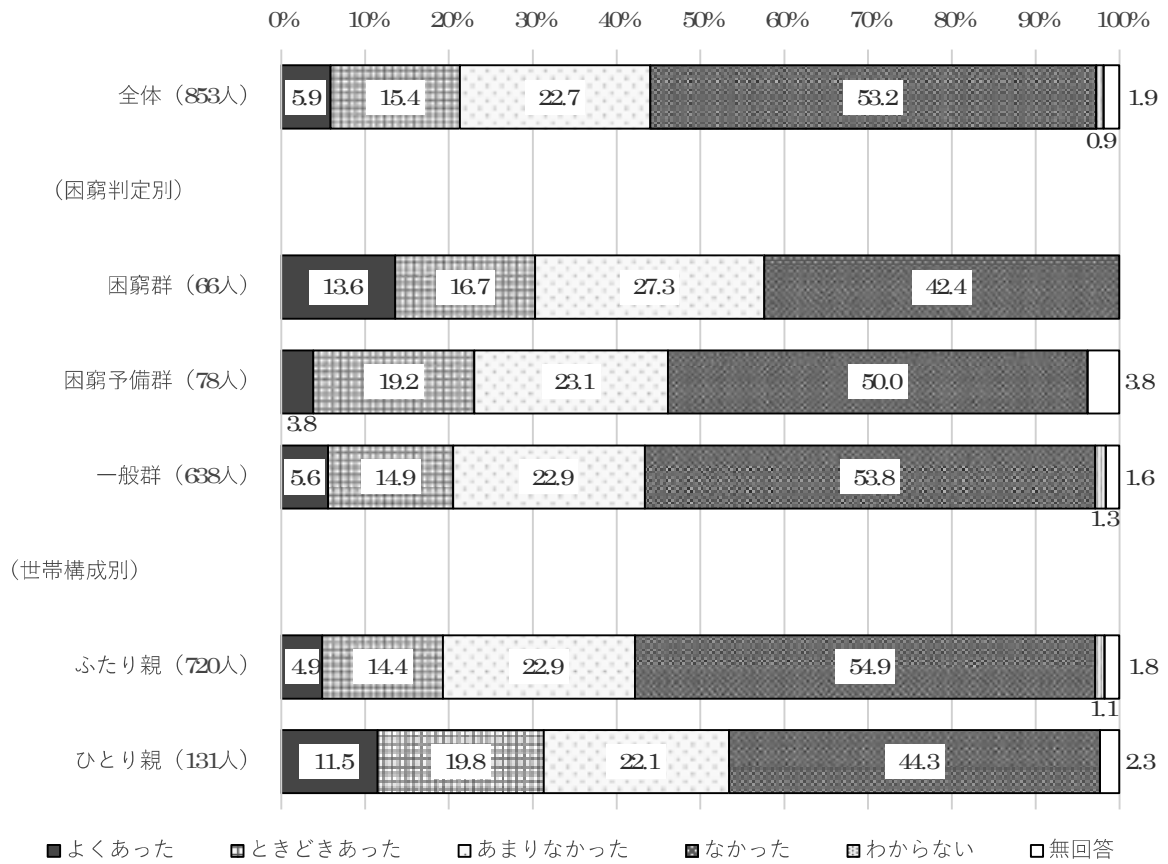


学校に遅刻したことがあるかについて、全体では「なかった」が68.9%で最も高かった。「よくあった」3.2%と「ときどきあった」(8.9%)を合わせた『あった』は12.1%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「よくあった」が高くなり、「なかった」が低くなっている。

世帯構成別にみると、『あった』はひとり親の方が5.9ポイント高かった。

【16～17 歳】学校や仕事に遅刻したことがあるか 「問 27-e」

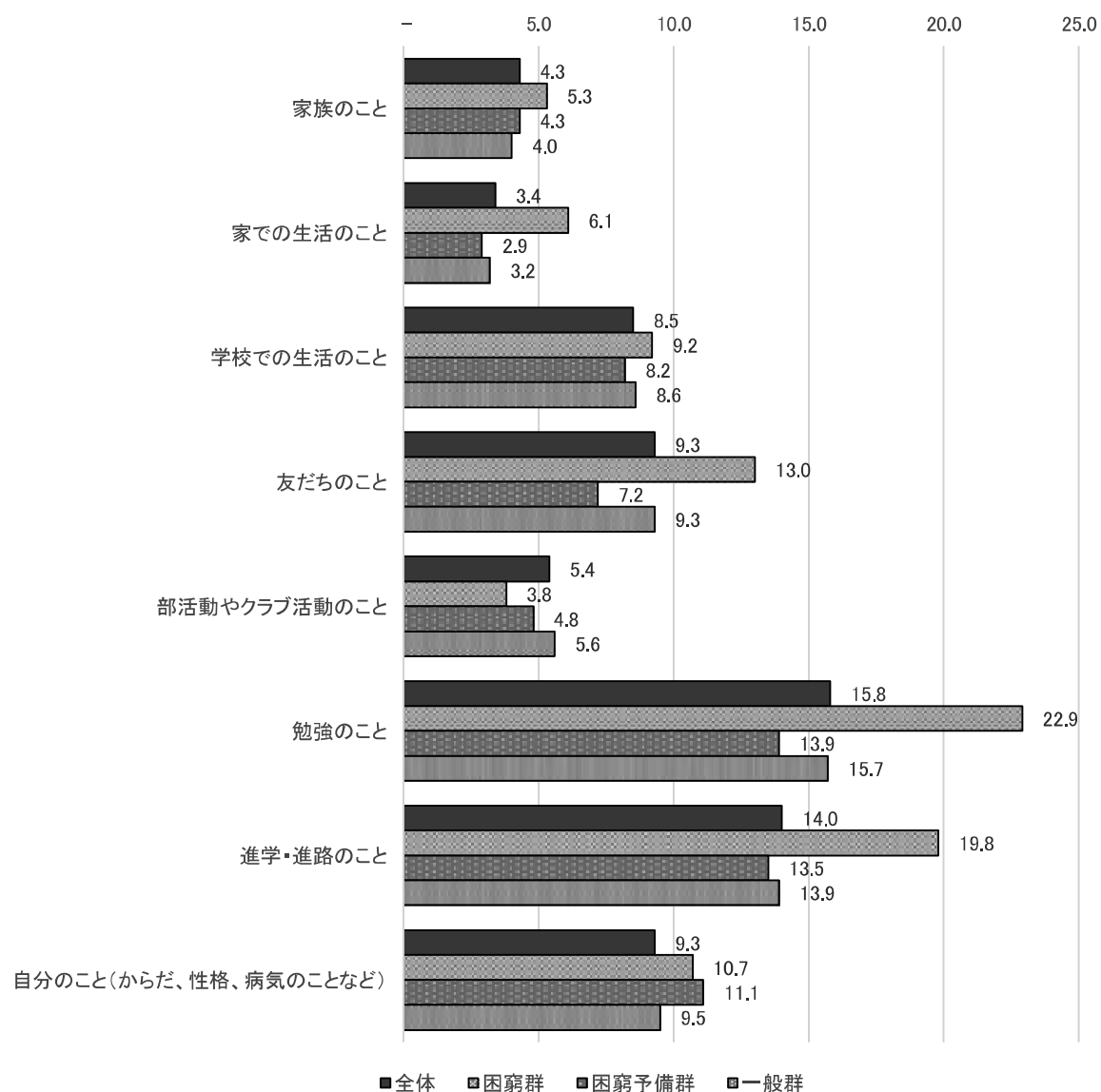


学校や仕事に遅刻したことがあるかについて、全体では「なかった」が53.2%で最も高かった。「よくあった」(5.9%)と「ときどきあった」(15.4%)を合わせた『あった』は21.3%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『あった』が高くなり、「なかった」が低くなっている。

世帯構成別にみると、『あった』はひとり親の方が12.0ポイント高かった。

【小5・中2】誰かに相談したいこと 「問 15」

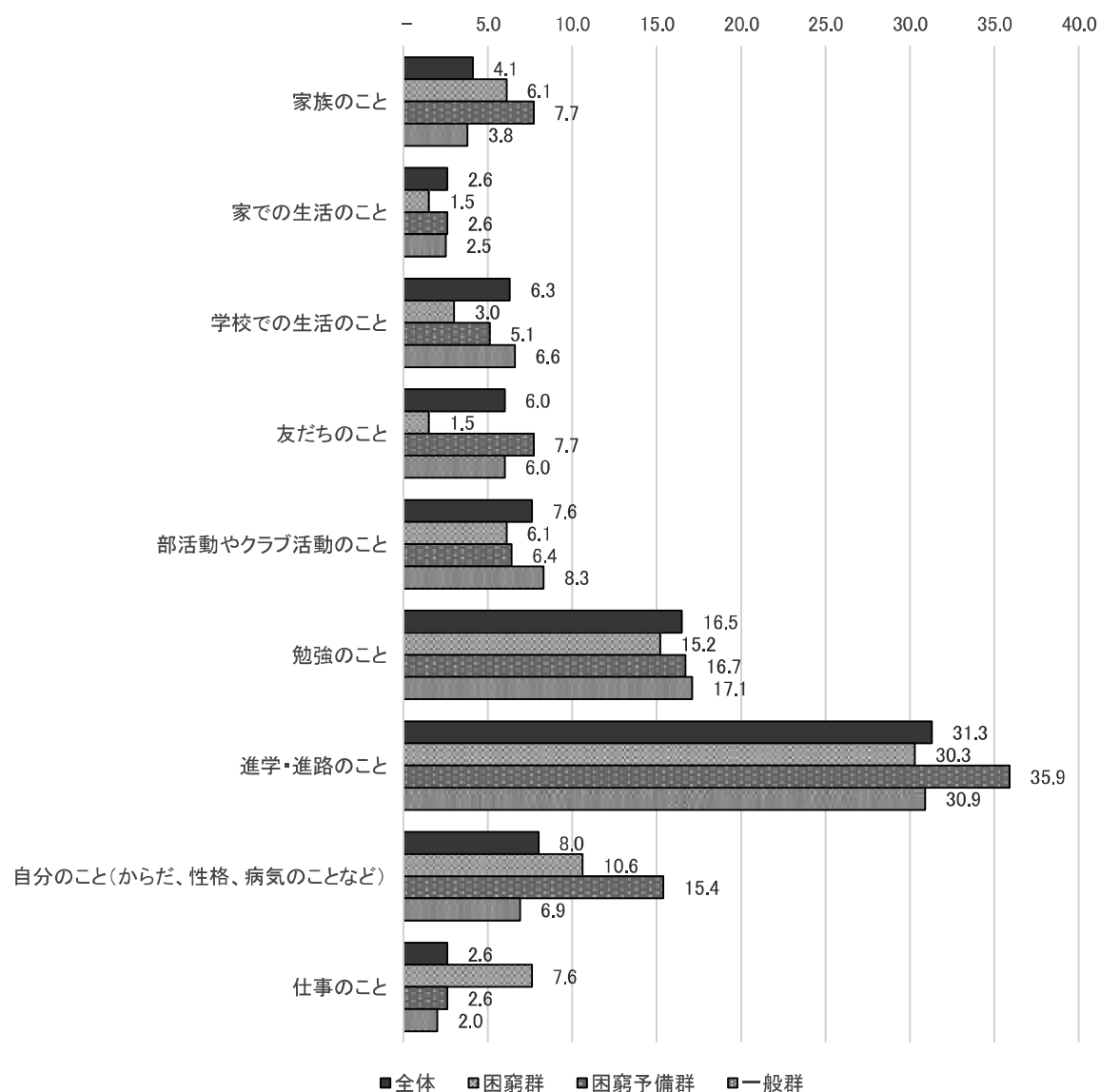


* 「その他」「特にない」「無回答」は非表示

誰かに相談したいことについて、全体では「勉強のこと」が15.8%で最も高く、次いで「進路のこと」(14.0%)、「友だちのこと」、「自分のこと」(9.3%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、「勉強のこと」「進学・進路のこと」など6つの選択肢で困窮群の回答割合が最も高かった。

【16～17歳】誰かに相談したいこと 「問17」



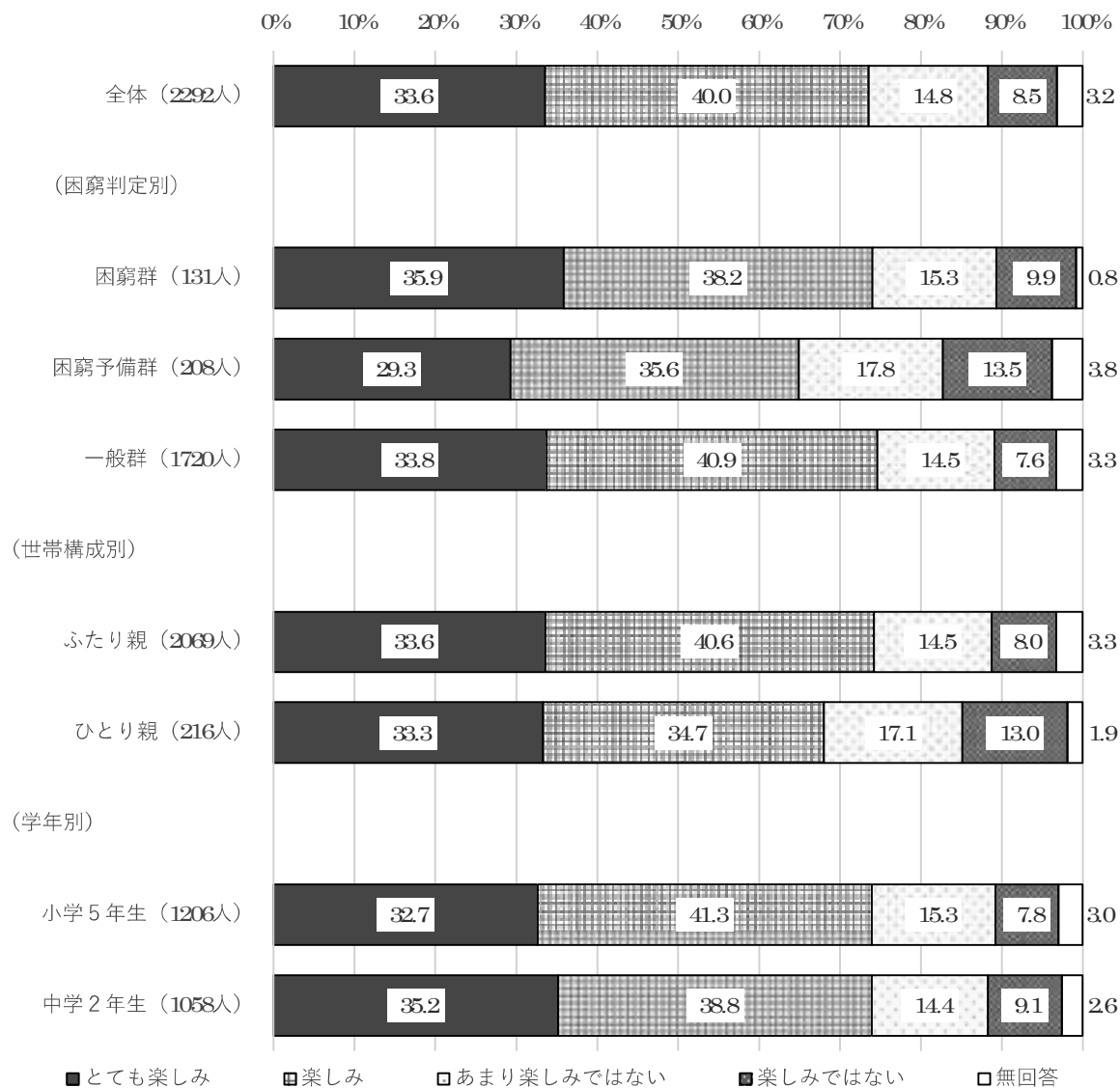
* 「その他」「特にない」「無回答」は非表示

誰かに相談したいことについて、全体では「進学・進路のこと」が31.3%で最も高く、次いで「勉強のこと」(16.5%)、「自分のこと」(8.0%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群では「仕事のこと」で、困窮予備群では「進学・進路のこと」など5つの選択肢で回答割合が最も高かった。

③社会性・将来の自立

【小5・中2】部活動やクラブ活動について 「問 17-e」

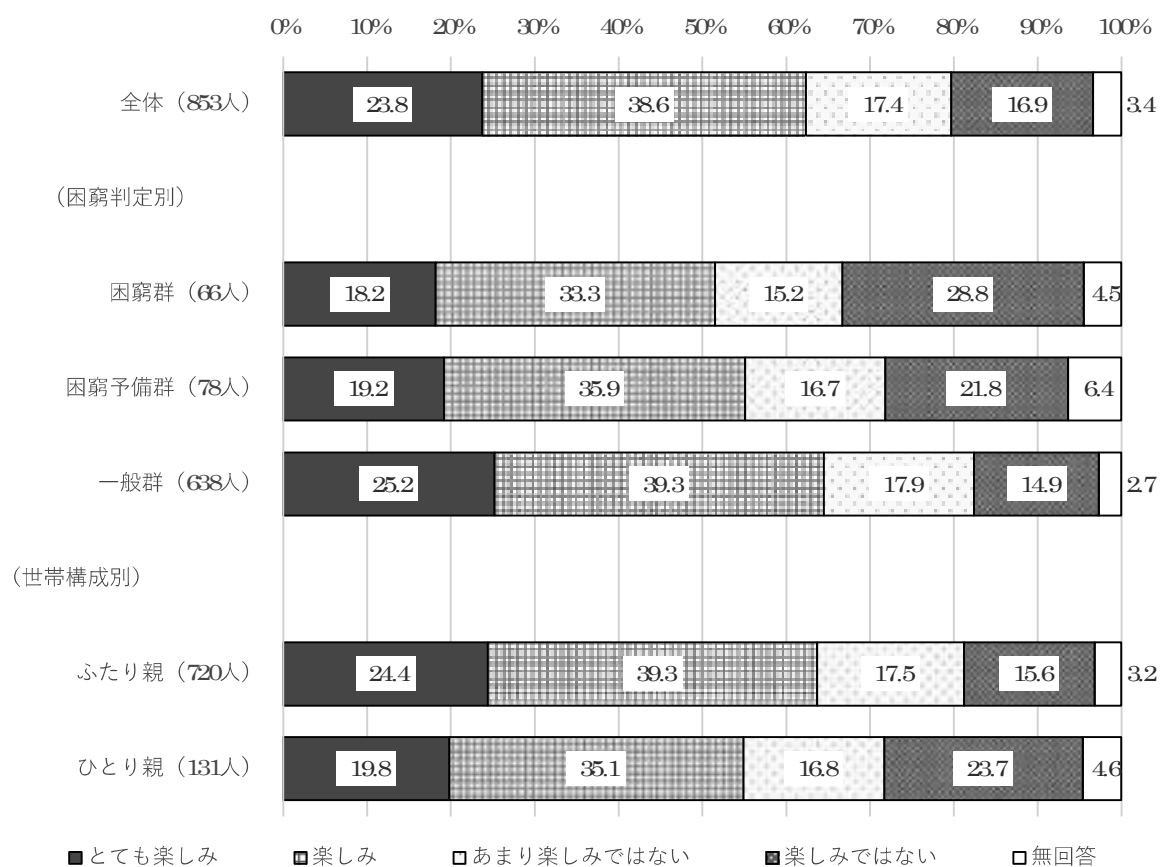


部活動やクラブ活動について、全体では「楽しみ」が40.0%で最も高かった。「とても楽しみ」(33.6%)と「楽しみ」を合わせた『楽しみ』は73.6%で、「あまり楽しみではない」(14.8%)と「楽しみではない」(8.5%)を合わせた『楽しみではない』は23.3%となった。

困窮判定別にみると、困窮予備群の『楽しみ』が最も低くなっているが、困窮判定にかかわらず『楽しみ』が『楽しみではない』に上回っている。

世帯構成別に『楽しみ』をみると、ふたり親が74.2%、ひとり親が68.0%となり、ふたり親の方が6.2ポイント高かった。

【16～17歳】部活動やクラブ活動について 「問 19-e」

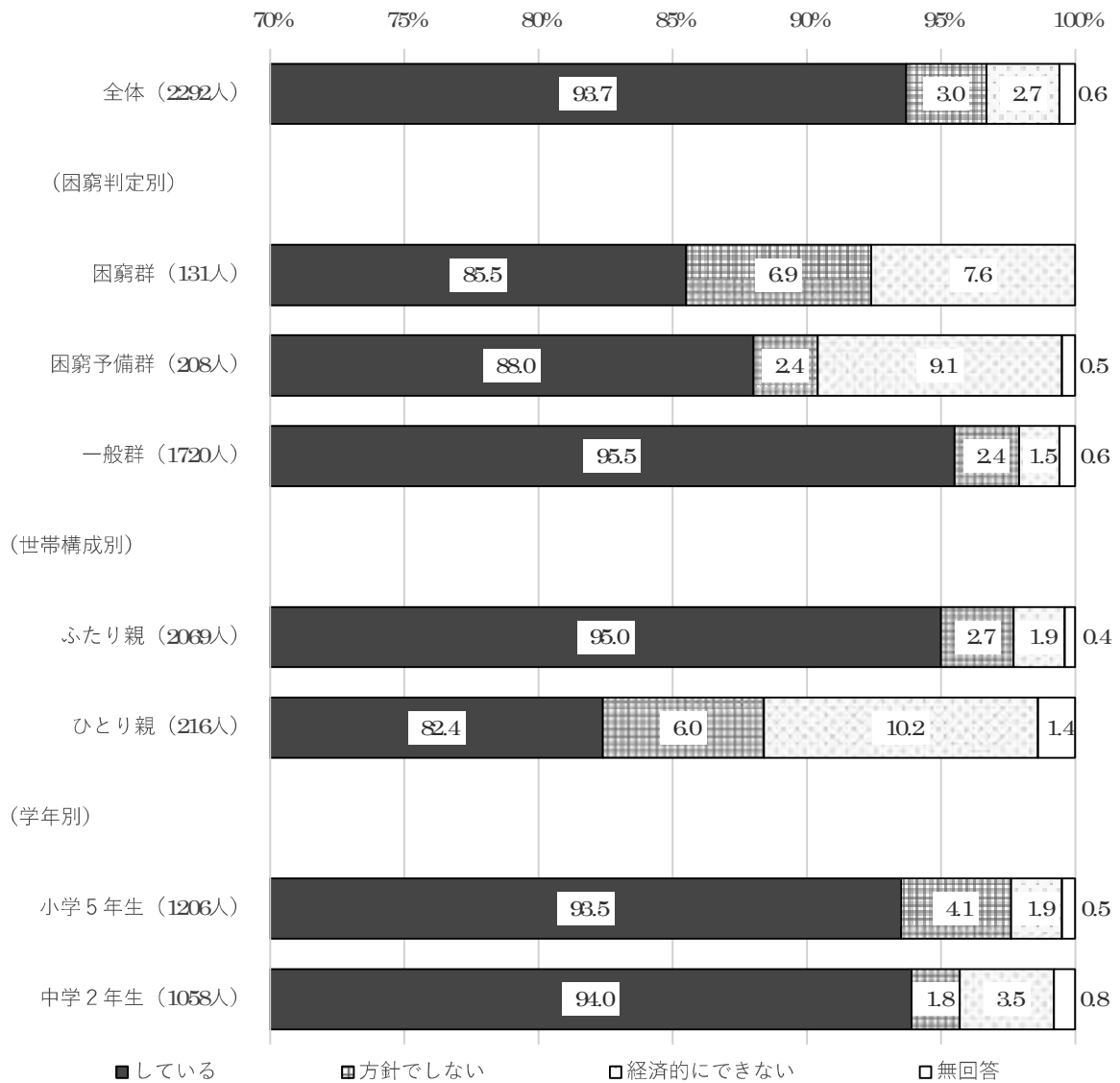


部活動やクラブ活動について、全体では「楽しみ」が38.6%で最も高かった。「とても楽しみ」(23.8%)と「楽しみ」を合わせた『楽しみ』は62.4%で、「あまり楽しみではない」(17.4%)と「楽しみではない」(16.9%)を合わせた『楽しみではない』は34.3%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『楽しみ』が低くなり、『楽しみではない』が高くなっている。ただし、困窮群でも『楽しみ』(51.5%)が『楽しみではない』(44.0%)を上回っている。

世帯構成別に『楽しみ』をみると、ふたり親が63.7%、ひとり親が54.9%となり、ふたり親の方が8.8ポイント高かった。

【小5・中2 保護者】子どもが自宅で勉強ができる場所について 「問 16-i」



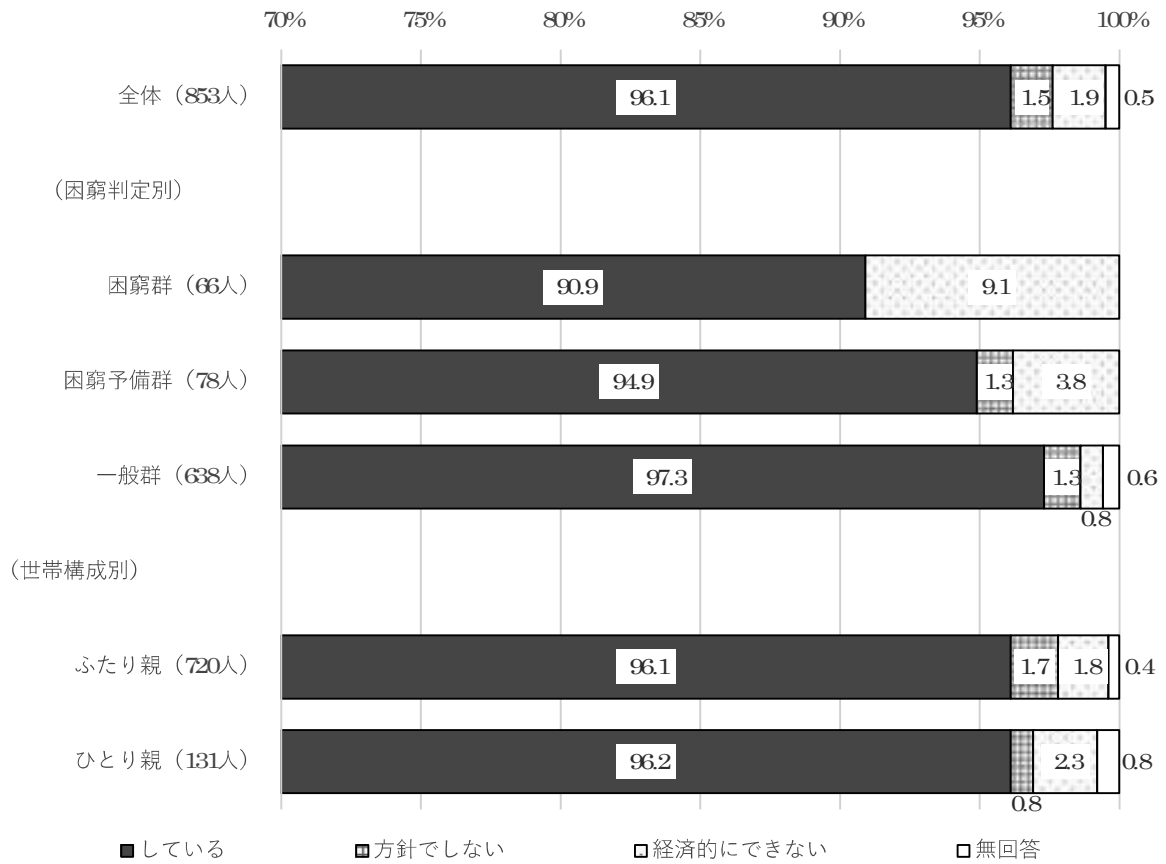
*目盛りの下限値を70%で調整

子どもが自宅で勉強する場所を用意しているかについて、全体では「している」が93.7%で圧倒的に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群でも「している」が85.5%と高かったが、困窮度合いが高いほど「している」が低くなっている。

世帯構成別にみると、ひとり親は「経済的にできない」が10.2%と相対的に高かった。

【16～17歳 保護者】子どもが自宅で勉強ができる場所について 「問 16-i」



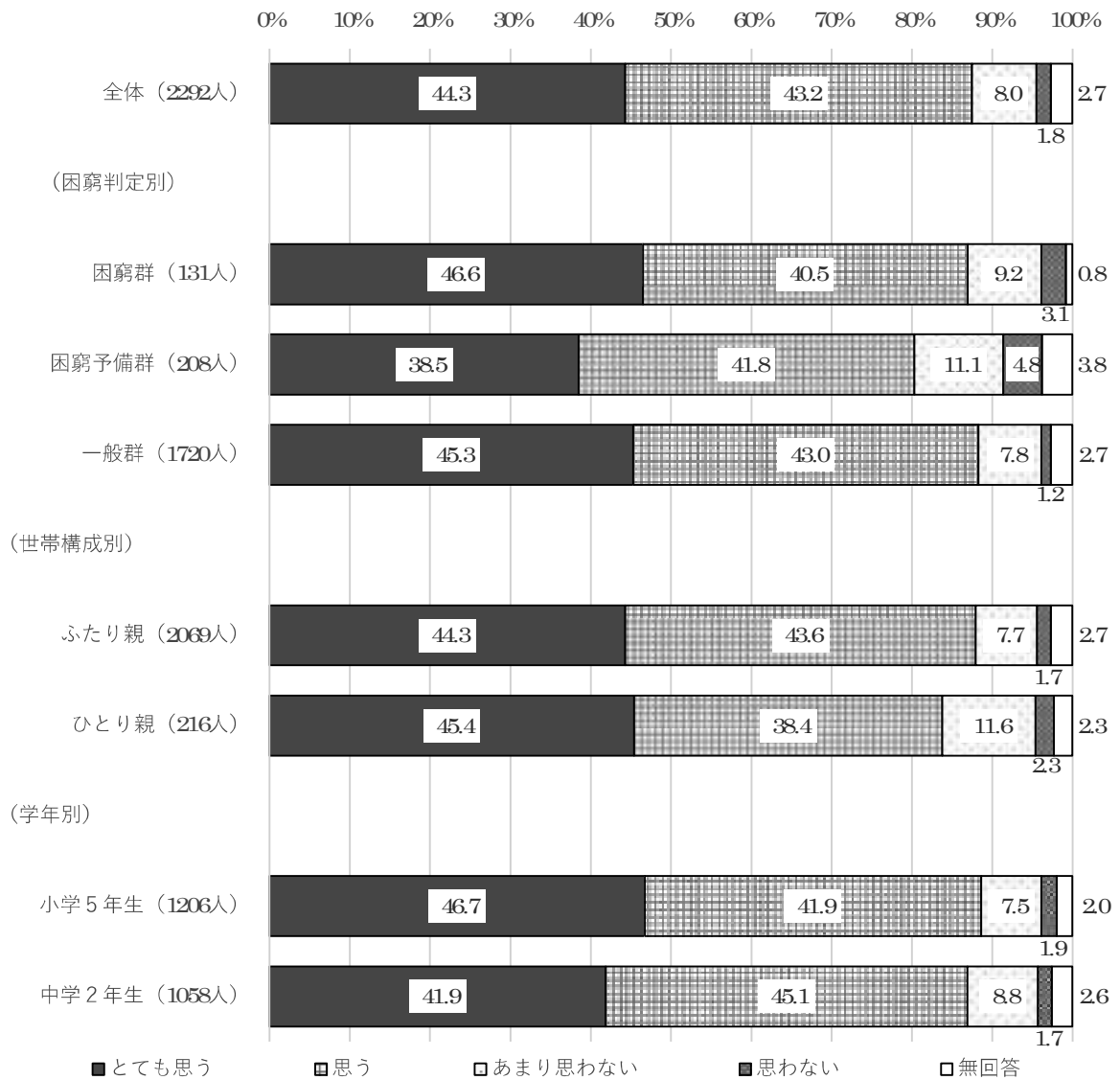
*目盛りの下限値を 70%で調整

子どもが自宅で勉強する場所を用意しているかについて、全体では「している」が 96.1%で圧倒的に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群でも「している」が 90.9%と高かったが、困窮度合いが高いほど「している」が低くなっている。

世帯構成別にみると、ふたり親とひとり親で大きな違いはなかった。

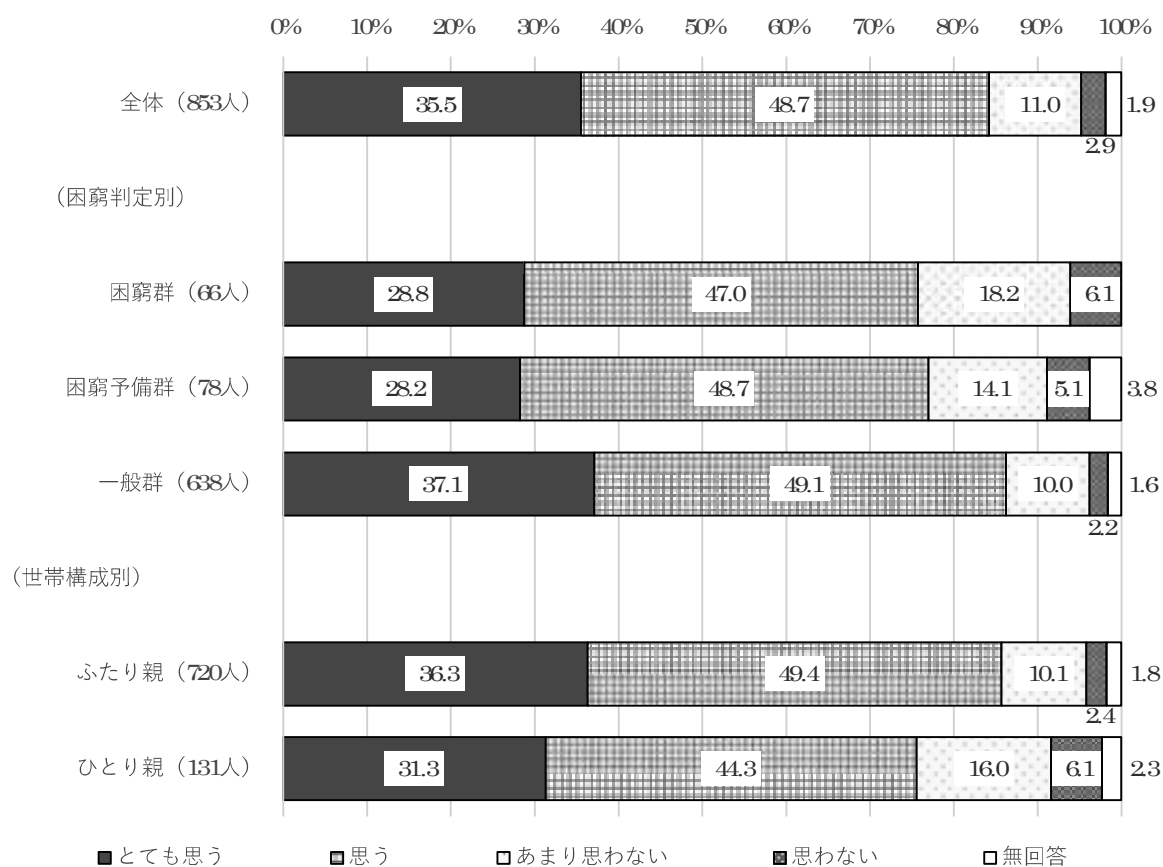
【小5・中2】 がんばれば良いことがあると思うか 「問 22-a」



がんばれば良いことがあると思うかについて、全体では「とても思う」(44.3%)と「思う」(43.2%)を合わせた『思う』は87.5%となった。「あまり思わない」(8.0%)と「思わない」(1.8%)を合わせた『思わない』は9.8%となった。

困窮判定別にみると、困窮予備群で『思う』が最も低くなり、『思わない』が最も高くなっている。世帯構成別にみると、『思う』はふたり親の方が高く、『思わない』はひとり親の方が高かった。

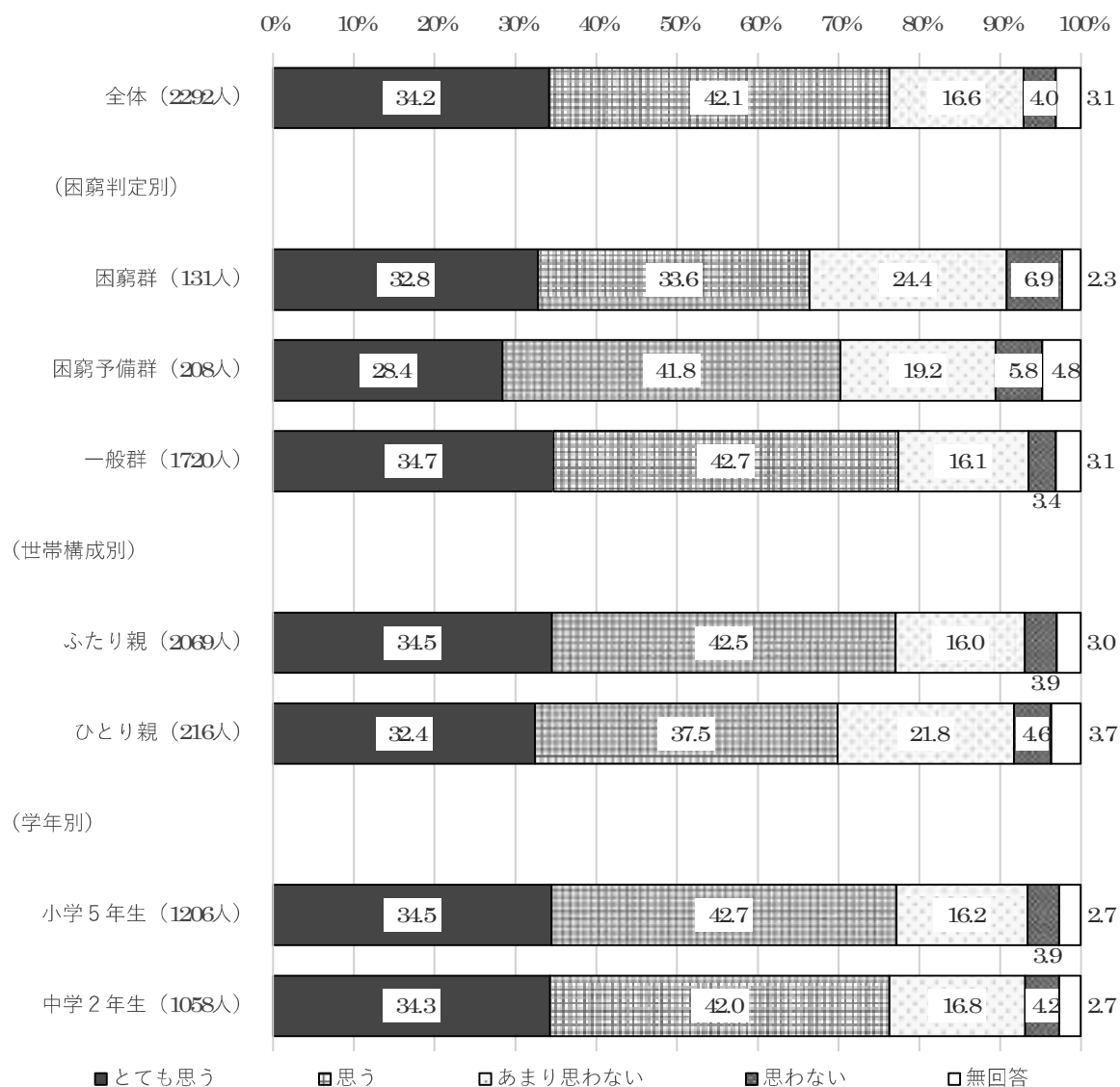
【16～17歳】がんばれば良いことがあると思うか 「問 26-a」



がんばれば良いことがあると思うかについて、全体では「とても思う」(35.5%)と「思う」(48.7%)を合わせた『思う』は84.2%となった。「あまり思わない」(11.0%)と「思わない」(2.9%)を合わせた『思わない』は13.9%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『思う』が低くなり、『思わない』が高くなっている。世帯構成別にみると、『思う』はふたり親の方が高く、『思わない』はひとり親の方が高かった。

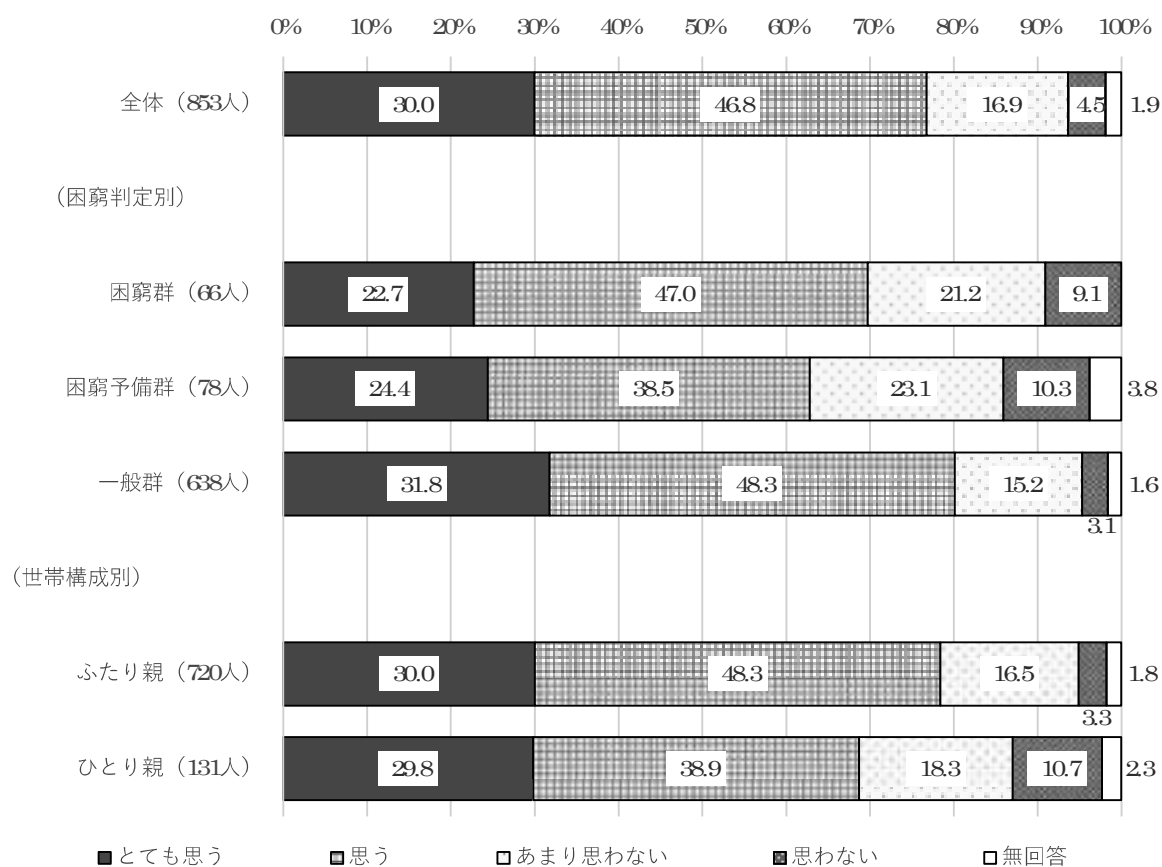
【小5・中2】自分には長所があると思うか 「問 22-b」



自分には長所があると思うかについて、全体では「とても思う」(34.2%)と「思う」(42.1%)を合わせた『思う』は76.3%となった。「あまり思わない」(16.6%)と「思わない」(4.0%)を合わせた『思わない』は20.6%となった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど『思う』が低くなり、『思わない』が高くなっている。世帯構成別にみると、『思う』はふたり親の方が高く、『思わない』はひとり親の方が高かった。

【16～17 歳】自分には長所があると思うか 「問 26-b」



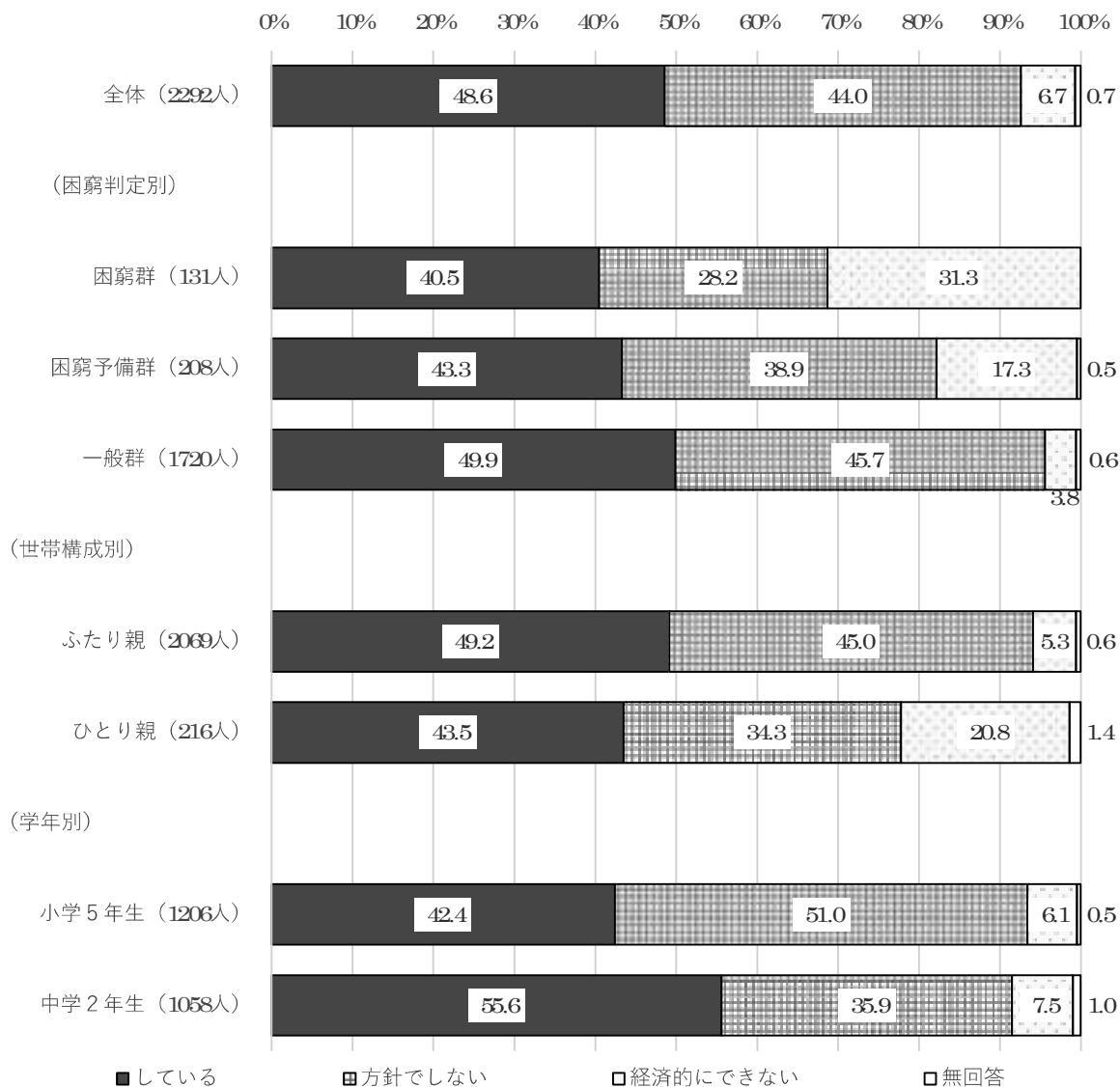
自分には長所があると思うかについて、全体では「とても思う」(30.0%)と「思う」(46.8%)を合わせた『思う』は76.8%となった。「あまり思わない」(16.9%)と「思わない」(4.5%)を合わせた『思わない』は21.4%となった。

困窮判定別にみると、困窮予備群で『思う』が最も低くなり、『思わない』が最も高くなっている。世帯構成別にみると、『思う』はふたり親の方が高く、『思わない』はひとり親の方が高かった。

(2) 保護者の状況

①家庭と経済的困窮の状況

【小5・中2 保護者】子どもに毎月小遣いをわたしているか 「問 16-a」

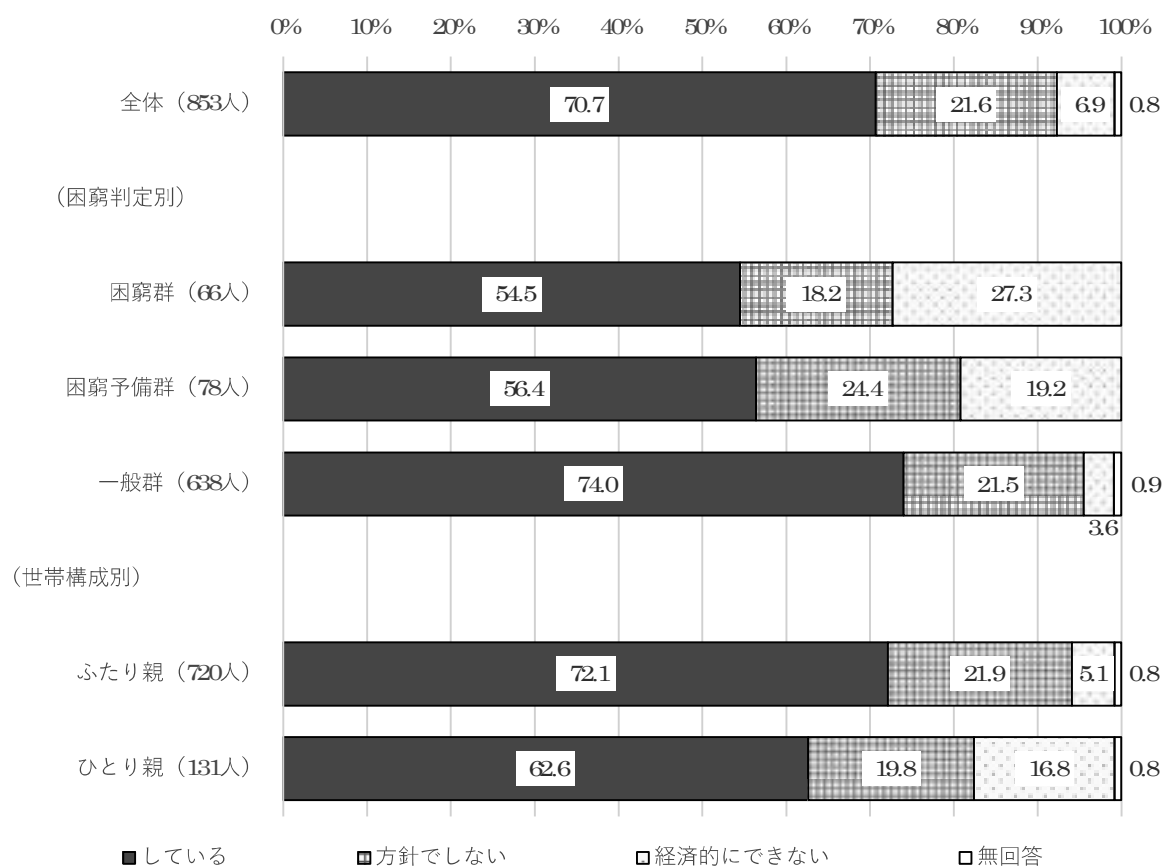


子どもに毎月小遣いをわたしているかについて、全体では「している」と「方針でしない」がほぼ半々で合わせて92.6%を占めた。「経済的にできない」は6.7%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」は高くなり、困窮群は「経済的にできない」が31.3%あった。

世帯構成別にみると、ひとり親は「経済的にできない」が20.8%となり、ふたり親の5.3%と比較して15.5ポイント高かった。

【16～17歳 保護者】子どもに毎月小遣いをわたしているか 「問 16-a」



子どもに毎月小遣いをわたしているかについて、全体では「している」が70.7%、「方針でない」が21.6%となり、「経済的にできない」は6.9%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「経済的にできない」は高くなり、困窮群は「経済的にできない」が27.3%あった。

世帯構成別にみると、ひとり親は「経済的にできない」が16.8%となり、ふたり親の5.1%と比較して11.7ポイント高かった。